京城日報

二日夕刊

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金六十五錢 三ヶ月金一圓九十錢(郵送料共)
廣告料 一行金(五號活字)
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 ...
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號

四省聯合の臨時政府 不日成立を見ん

岑春煊は龍濟光、陸榮廷、梁啓超等の推戴に依り四月二十九日兩廣(廣西廣東)司令に就任せり兩廣司令と雲南都督との連絡に就きては双方協議中なれば不日四省聯合の臨時政府成立すべし(北京特電)

長沙獨立宣言近し

長沙には將軍の外に民黨と紳士團體とありて別々に獨立の計畫ありたるが最近に紳士團體と將軍との連絡始めて成りたれば獨立の宣言は旬日を出でざるべしと傳へらる(漢口特電)

袁氏留任と蔡鍔

蔡鍔は袁總統の留任を絕對に肯せずと(上海電報)

袁總統渡日說

袁總統は此際日本に渡航せんと決意したるもの〻如く支那政府顧問有賀法學博士は袁總統適當の住居を小田原須磨明石等に探し居れりとの說あり(東京電報)

北伐準備成る

北京政府は財政の窮乏其極に達し南征の力なきに反し南方獨立軍は軍資金の充實を計り既に北伐の準備成れりと(東京電報)

激烈なる露墺軍の爭奪戰

モンラツヰツセの北方及びイクワ河に於て墺軍は猛烈なる準備的砲擊を爲したる後大部隊の兵力を以て露軍塹壕の突出部を攻擊しホーセル河の西方村落に於て退却しつ〻ありたる一個中隊を捕虜とせり露軍は猛烈なる砲擊の後敵の激烈なる砲火を冒して逆襲を行ひ塹壕を奪還して敵の守備隊の殘部たる將校二十二名軍醫二名下士卒六百名を捕虜とせり塹壕は敵の死傷者を以て充滿せり(露都電報)

ヴェルダンの佛軍成功

巴里來電に據ればヴェルダンに於ける佛軍の成功は公報中の特徴にしてラシグニーの獨軍は猛烈なる準備的砲擊を爲したる後ラシグニーの南方に小規模なる攻擊を加へ一時立脚地を占領せるが間も無く驅逐せられたり佛軍は薄暮モノソンメの北方に於て獨軍の塹壕を占領し多數の捕虜を得たりと(倫敦電報)

愛蘭叛亂全く鎭定す

愛蘭ダブリン市に於ける叛亂は首魁政府軍に降服し全く鎭定秩序恢復せり(東京電報)

暴徒降服事由

ダブリン暴徒の降服事由は暴徒の首領コンノリーの死去したる爲めなりと(東京電報)

印度航路運賃

印度航路は來る七月一日より運賃引上實施に決したり(東京電報)

露藏券發行か

第二回露國大藏省證券一千二百萬圓發行の件は增田ビルブロカーと露國政府との間に發行契約成立し增田より目下大阪シンヂケート銀行團と交涉中にして其の內容は價格九十五圓五分利償還は一年半期限の條件なりと(東京電報)

阪谷男一行

聯合國經濟會議參列の特派委員長阪谷男を首め鶴見、矢部、田の各特派委員一行六名は二日午前九時三十八分下關著直ちに聯絡船對馬丸にて渡鮮せり(門司特電)

新聯隊渡鮮期

新設師團編成の爲め第一師團步兵第三聯隊より編成の第七十三及び第七十四聯隊の二個聯隊は來る七日品川より出發渡鮮の途に就く可し(東京電報)

普校長特別任用令 御諮詢案可決

二日樞密院に於て朝鮮普通學校長特別任用に關する御諮詢案を可決せり(東京電報)

總督邸晚餐會

寺內總督は三日午後七時より前駐日露國大使マレウスキー、マレウキッチ氏を龍山別官邸に招待晚餐會を開く當日の陪席者は井口軍司令官、立花師團長、總督府各部長官、主要所屬官署長官、古海警務總長、局長並に其夫人等三十餘名なり

露領事午餐會

露國總領事は前駐日露國大使マレウスキー、マレウキッチ氏の入京を機とし同氏を主賓として寺內總督以下小松翰長、兒玉總務局長、森武官、池邊秘書官、大藤副官等を二日正午より同領事館に招待午餐會を開けり

前露大使動靜

マレウスキー、マレウキッチ氏は二日午前昌德宮、工業專門學校、中央試驗所を視察し正午露國總領事の午餐會に臨みたる後景福宮博物館、女子高等普通學校等を參觀其れより總督邸を訪問して挨拶を述べ午後七時龍山別官邸に於ける總督招待の晚餐會に出席同夜九時四十分發汽車にて退京の筈なり

阪谷男爵旅程

聯合國際經濟會議特派委員長阪谷男爵及び輔佐委員鶴見左吉雄、矢部規矩治、田昌氏の一行は一日東京出發、二日午後九時四十分釜山に著し同日午後十一時釜山發列車に搭乘、三日午前八時五十分京城著、入京一泊の上四日午前七時十分南大門驛發汽車にて奉天經由渡歐の途に就く旨其筋に通知ありたり

聯絡會議 ―第二日―

日支聯絡會議第二日は二日午前十時會場たる朝鮮ホテルにて開會、支那側、滿鐵側委員一同列席の上、前日議了せる議定書即ち

一、日支巡遊劵の賃金遞減の件
大人百廿圓を八十圓に、小兒六十圓を四十圓に改む
二、支那鐵道と滿鐵安東驛との間の手荷物運送に對し支那稅關の保稅方法設定の件
其他七件に就き讀合せを爲したる後本會議に移る當日の議題は
一、奉天を經て日本と支那との貨物直通連絡開始の件(日本側提案)
二、南滿、京奉、津浦各線間に直通乘車劵設定の件(支那側提案)

外三件あり殊に第一案は最重要案件にして從來日支各線間に旅客直通連絡に就ては協定成り現に實施中なるも未だ貨物直通運絡の協定なきを遺憾とし茲に設定せんとの希望にて日本側より提案されたるものなるが是れ實際上に於ては却々の大問題にして一席の議にて決定せらるべき種類の問題にあらずとは豫て覺悟せられたるものにて會議の結果は目的に向つて一步を進めし位の程度にて又今後數次の會合の後全く終了すべしと信くて議事を終りしは午後零時四十分なりき因に三日は議定書作製の爲め休會し四日は午前十時より開會の筈なり

鐵道債劵と朝鮮

客月廿一日より廿五日迄公募せし鐵道債劵四千萬圓は締切の結果三百廿五萬四千六百五十圓の應募超過となりし爲め結局最高價申込より確定し百分の九十二、三五受入れとなりたるが朝鮮よりの應募申込高は廿三萬六千八百圓なりしを以て五月一日日銀朝鮮代理店の確定通告電報により廿一萬九千百圓の募入となりしが朝鮮申込中の最高プレミヤムは五十錢を附しありしと

笠置艦員入京

笠置艦乘組員中候補生五十九名下士卒百五十五名は二日八時二十分著入京せるが市中見學順序は左の如し
南大門驛より徒步昌德宮に至り同宮秘苑見物夫れより電車にて景福宮前に至り仁政殿總督府博物館觀覽昌德宮前より電車にてパゴダ公園に赴き京城ホテルに晝食後龍山に至り市中の見學を爲す

平壤聯隊軍旗

七八日頃授與の豫定 新設聯隊に對する軍旗の授與は其聯隊全部著隊の上授與する事と成り居れるも未だ著隊せざる聯隊もあるより聯隊本部のみ到著の者へ與ふるか其全部著隊を俟つて授與するか未定の箇所もあれど平壤第七十七聯隊に對しては多分七八日頃立花師團長出張の上之が授與式を行はるべし

寺西軍醫部長著任

東京第一師團軍醫部長より駐劄軍軍醫部長に轉任せる軍醫監寺西密作氏は一日夜龍山著來任したり

遞信局技師更迭

釜山郵便局の神代技師は元山に元山郵便局坪井技師は平壤に平壤郵便局稻塚技師は釜山に今回各轉勤となれり

愛婦の水兵接待

愛國婦人會朝鮮本部にては五月一日及び二日の兩日練習艦笠置の乘組下士卒三百餘名の入京見學に對し景福宮慶會樓にて茶菓及卷煙草の接待を爲せり

府尹郡守打合會

京畿道府尹郡守打合會第二日は二日午前八時より開會前日に引續き諮問事項の答申あり午後三時散會せり三日は午前中諮問事項を日程に上し午後は長官の訓示あるべしと

研修會例會

總督府職員研修會第九回例會は三日午前八時より總督府第二會議室に開催、寺內總督以下各部長官、局長、課長、高等官並に乙班に屬する判任官二百數十名列席す可く當日の講演者及び其演題左の如し
戰後に於ける列國の關係　小松翰長

鮮銀店長會議期

鮮銀各支店長出張所長會議は既報の如く十五日より開會する事となりしが開期は七日間なるべく各店長は十三日頃迄に全部入京すべしと

總監部講演會

警務總監部憲兵隊司令部恒例講演會第九回は三日午前八時總監部會議室に開催前回よりの草場通譯官の帝範臣軌に關する講演ある筈なりと

赤十字觀光團出發

赤十字社總會參列觀光團一行三十餘名は既報の如く一日朝急行列車にて大橋主幹引率の下に出發東上せり

鑛產館の開館

釜山商業會議所所屬商品陳列所別館鑛產館は既に竣工を告げたるが愈々五月二十日頃同所附屬商工俱樂部の落成を待ちて同時に開館式を擧行する筈なりと

▲鑛物出品者

鑛產館竣工に付其後日本內地及び朝鮮各鑛業者に向け出品方照會中の處四月末迄に出品せしもの左の如し

▲金銀黃銅鑛 山形縣西村山郡古河永松鑛業所▲黃銅鑛、鉛、蒼鉛、亞鉛鑛、斑銅、錫、錫鑛、安質母尼鑛 兵庫縣朝來郡生野鑛山▲硫化鐵鑛、黃銅鑛 岡山縣川上郡吉岡鑛山▲別子山並に鑛石製錬品標本一箱 住友別子鑛業所一覽一部、住友別子鑛業所▲塊炭及粉炭一箱、繪葉書一組 長崎縣西彼杵郡高島炭坑▲田川四尺炭一箱、同八尺炭一箱 福岡縣田川郡三井田川炭礦▲硫化見本二個、繪葉書一組、寫眞一枚 栃木縣足尾鑛業所▲銅鑛一 岡山縣磐田郡久根鑛山▲石炭標本 福岡縣三池郡三池炭鑛▲含金銀、亞鉛鑛 秋田縣鹿角郡三菱尾去澤鑛山▲銅鑛、鉛鑛 岩手縣和賀郡大荒澤鑛山▲塊炭一箱 石狩國北海道炭礦汽船株式會社北海道支店▲金鑛 黃海道遂安郡遂安鑛山▲金鑛 忠淸北道鎭川稷山鑛山▲成鑛 黃海道安岳郡安岳鑛山

の十五所にして此の外朝鮮內地の分は昨今照會遲延の爲め遲れ居るものあれ共近く全部の出品を見る可しと(釜山)

商議一時閉鎖 八日役員會にて決定せん

京城商業會議所は設立認可を得ると共に五年度豫算を編成し其筋に認可を申請したるが各地の會議所同樣未だ認可の指令なきため一面每日の執務に要する經費の支出法なきを以て之を得る迄一時閉鎖を行ひ執務を休止する筈なりと云ふ尚本件に就ては來る八日頃役員會を開會し大正四年度經費決算報告同年度課金滯納者處分の件等と共に附議せられたる上決定す可きものなり而して認可遲延の理由につき一部に於て監督官廳側某高等官の意見を聞くに會議所より提出したる新豫算は事務費が事業費に比し著しく增大し居るを以て會議所本來の性質上事業費に重きを置く可きものなりとの意見を有する者官邊に多く其ため審查に手數を要し認可に遲延を來し居れるものにあらずやと云ふ

府協議員の任命

京城府協議員中には尙ほ一名の缺員ありたるが今回新龍山の農事經營者石原磯次郞氏に對し二十九日附を以て其筋より任命ありたるを以て京城府にては三日午前本人の出頭を求め辭令を交付す可しと

平壤

▲平南貯蓄調查 大正四年度末に於ける平安南道に於ける面職員貯蓄金額は四千七百九十三圓六十四錢にして組合及び稧の貯蓄高は十一萬七千九百二十五圓三十四錢なり而して組合及び稧の數は四百七十九にして其人員三萬二千四十五人なり之を前年に比するに面職員貯金に於て金一千九百二十八圓餘を增し人員に於て四十三人を增加せり又組合及び稧の貯蓄高に於て金三萬二千五百三十五圓餘を增し人員に於て六千二百四十五人組合及び稧に於て七十八を增加せり以上の外副業貯蓄組合數六十五組合員數二千九百十九人貯蓄金高二千九百四十六圓五十錢五厘あり是亦前年に比し貯蓄高二百四十三圓餘を增加せり▲大地主調查 平安南道廳に於て最近地主調查中の處此程完了其結果如左

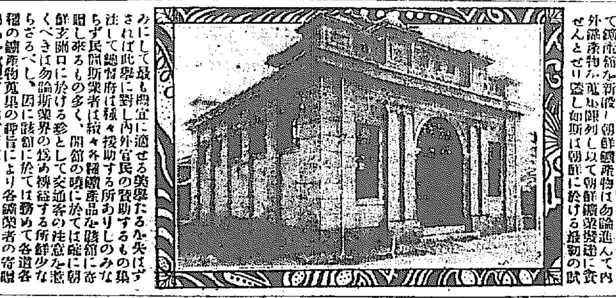
百町步以上	三十八人
五十町步以上	百九人
二十町步以上	四百八十二人
十町步以上	二千七十七人
五町步以上	七千二百一人
三町步以上	一萬二千九百四人
二町步以上	一萬六千四百七十四人
一町步以上	二萬六千七百九十四人

沙里院

▲鳳山郡沙里院地方金融組合は四月三十日同事務所內に於て第四期總會を開催せり會するもの一百五十七名にして決算報告後同席に於て模範組合員の表彰をなせし其人名は
舍人面 孤組、同面 金宗鎭、兩面 拘、同面 金...、永東面 朴秀昌、同面 金興善、同 ...
の五名とす因に大正四年度帳尻貸出を開くに六千二百五十二圓三十錢同年度純益金二千二百八十九圓五十二錢五厘本年度總缺損金二千五十二圓八十八錢七厘差引過剩金二百三十六圓六十三錢にして配當金年六分の割合なりと云ふ▲黃海道鳳山郡沙里院川上某の老母(七〇)は四月廿九日街路步行中混雜のため沙里院衞生組合の便運搬車に觸れ轉倒せり同人は右手首關節部より骨折し疾病休業十四日間を要する創傷を負へり

釜山鑛產館(商業會議所商品陳列所附屬)

朝鮮半島に於ける鑛產物の豐富にして近來內外斯業者の朝鮮鑛業に注目するもの甚だ多く本業の前途頗る有望なるを認め、這回釜山商業會議所に於ては其附屬商品陳列所別館として鑛產館を新設し朝鮮鑛產物は勿論進んで內外鑛產物を蒐集陳列し以て朝鮮鑛業發達に貢せんとせり蓋し如斯は朝鮮に於ける最初の試みにして最も時宜に適せる美擧たるを失はずされば此擧に對し內外官民の賛助するもの尠からず總督府は種々援助する所ありしのみならず民間斯業者は續々各種鑛產品を寄贈し來るもの多く、開館の曉に於ては確に朝鮮鑛業の前途に於ける參考として交通者の注意を惹くべきは勿論斯業界の爲め稗益する所鮮少ならざるべし、因に該館に於ては務めて各道各種の鑛產物蒐集の趣旨により各鑛業者の寄贈出品を歡迎する由(釜山)



元山

▲築港工事近況 元山に於ける築港工事其後の進捗狀況を聞くに悉く豫定以上の進捗を見たるもの〻如く本年度豫定埋立數六千五百坪の內既に埋立を了したる坪數約二千坪に達し防波堤工事は長德島附近が開始し其捨石の如きは今既に長く水平線上に現れ居り倚同埋立地上に建築の物品倉庫は去る二十二日落成を見るに至り其他監督員詰所セメント倉庫等順次建築著手の筈而して浚渫機は延期し五月下旬頃となり該浚渫機の到著を待ち直に海底の浚渫に著手の豫定なり

仁川

▲仁川瓦斯の經過 仁川瓦斯會社創立發企人の引受株數は其後愈々確定せるを以て去る三日中同社創立委員長奧田貞次郞氏の名義を以て其筋に認可申請の手續を爲す筈なるが一切の事務は和田友太郞氏擔當し居れり▲海軍士官招待宴 目下仁川港に碇泊中の軍艦笠置乘組士官櫻井艦長以下十七名を久永仁川府尹は二日午後六時より八阪樓に招待せり

大邱

▲府尹郡守會議 慶尙北道に於ける府尹郡守會議は三日間慶北道廳會議室に於て開會に決し去廿九日各府郡に通牒を發せり▲バレー蒔播種 慶北永川郡新寧面に於ては本年慶北道支部第一回の試みとしてバレー蒔十五町步の委託耕作をなさしむ可く準備中なりしが去る二十九日前田事務官課大邱出張所長出張し新寧、河陽、花山、永川、知谷、新村の各面に共同苗床を準備せしめ播種に著手せしめたり▲醫院本館改築 大邱慈惠醫院にては愈々一日より本館改築の爲め當分の中事務所診察室は西側に移轉したるが本館工事著手は十日頃にして竣工期は十月末なりと▲神社經營協議 一日午後一時より大邱府廳に於て過般認可されたる大邱神社經營に關する協議會を開きしが協議事項は評議員及び常任委員選定の件なりし

慶北の人事

▲慶北警務部警部中田重吉氏は地方視察の爲め廿九日より一週間の豫定にて安東地方へ出張▲慶北道書記學務係山田民次郞氏は今回尙州普通學校長に轉任を命ぜらる▲小野村彌太郞氏は今回大邱金融組合理事見習に任命さる▲古藤慶北道書記理財係主任は地方金融狀況視察の爲め三十日より十日間の豫定にて慶南馬山晋州居昌地方へ出張す▲慶州地方へ道路視察の爲め出張中の谷慶北道技手は一日歸廳▲村岡慶北道技手は道路視察の爲め廿日玄風地方へ出張▲矢吹慶北道技手は慶山河陽間道路視察の爲め一日出張

英陽

慶北英陽には近時移住民增加の結果小野金藏外十六名連署にて學校組合を新設すべく其筋に申請書を提出せり

人事消息

▲田所海軍少將一行 二日夕入京巴城館へ投宿の豫定▲モーア氏夫妻(英人) 二日朝入京朝鮮ホテルへ▲松平子爵(東拓監事) 一日夜大田へ▲原田太郞氏(代議士) 二日朝釜山より入京▲井出榮三郞氏(前北海道廳道管理局長) 滿洲方面より二日夜入京の筈▲西尾辰二郞氏(吉長線技師長) 內地より馬山經由廿日夜通過北行▲櫻井班泉氏(水原慈惠醫院長) 二日午前入京佐伯旅館へ▲木村雄次氏(鮮銀理事) 二日朝釜山へ▲京城技藝學校職員生徒 百三十五名二日朝加五里へ▲大垣丈夫氏(京城通信社長) 二日加五里へ▲後藤瑞巖師 京都、鎌倉、東京巡錫中の所三日朝南大門驛著歸山▲櫻井大佐(笠置艦長) 二日午後五時退京仁川出航は四日午前なる可し▲阪谷男爵一行 三日朝八時五十分入京の豫定▲小松原東洋協會長 三日朝出發平壤へ向ふ豫定

聯合經濟會議委員の事

▣獨逸が墺地利と結んで所謂中歐關稅同盟の塹壕を高くし聯合國側の經濟を壓迫し最終の勝利を期して居れば聯合國側でも之に對抗して經濟同盟を計畫して居る。近く巴里に開催される英露佛伊諸國の聯合經濟會議は即ち戰時中及び戰後の經濟上の重要問題を講究決定し聯合國が提携して行かうと云ふ趣意であつて日本も之れに參加する事に決定した此の會議は其性質から云へば實に重大なる國際會議であり、從つて日本を代表して參加する委員の責任は非常に重いのである。

▣其の參加委員の人選は先月中旬に決定して委員長には阪谷芳郞男が任命せられ、補佐委員として鶴見、矢部、田、田村、杉村、森の六氏が任命された。委員の內で田村七太氏は現に倫敦に大使館附參事官として駐在し、杉村陽太郞氏は巴里の大使館に在り、森賢吾氏は財務官として同じく巴里に駐在して居るから今度日本から渡歐するは阪谷委員長と鶴見、矢部、田の三補佐委員である。

▣阪谷男外三氏は既に一日朝東京を發し二日朝下ノ關を發したとの電報が來たから三日午前八時五十分に南大門驛著、三日中滯京、四日早朝の鮮滿急行で出發する筈である。阪谷男の事は今更紹介するまでもなく夙に大藏大臣の要職を踐み永く東京市長の椅子に在り政治家であり學者であり其の財政經濟の事に精通せるは多言を要せぬ、男は澁澤男の婿であり我が財界に大勢力をなして居る。現に經濟學協會の會長であり、聯合會議の日本側委員長としては押しも押されもしない適任者である。三日の夜は京城で官民聯合の歡迎會が催される筈で席上男爵より有益なる經濟談があるさうだ。

▣鶴見左吉雄氏は農商務省商務課長で同省の商品陳列館長で外國にも度々行き、貿易品に關する智識の泰斗である。殊に歐洲戰爭以來日本品の外國發展につき或は支那に印度に南洋に滿洲に露領に實地の調查をなし國產品の販路擴張については非凡なる識見を有して居る。

▣矢部規矩治氏は大藏省技師で當代稀に見る關稅學者で商工學者である曾て日獨關稅問題について非常なる敏腕を振つた人であり關稅問題については大藏省の活字引と云ふべき人である。

▣田昌氏は大藏省の錚々たる人材であつて前の豫算決算課長で近く留學する筈の人であつた。此人は財政の事にかけては恐ろしい明晰透徹な頭腦を有し非凡な判斷力をもつて居る同氏の腹式呼吸と云へば有名なもので下つ腹で力のある呼吸をしながら問題を睨めつければ如何なる難問題でも雲散霧消するといふ噂である。

▣委員長は勿論三氏の如き一騎當千の士である聯合國經濟會議に於ける委員としては在外の三氏と共に夫々の長所を發揮し得發を絞るであらう

□龍山總督官邸の前露國大使（中央）マレウイッチ前大使（後方）同令孃

◉天覽御能＝光榮ある五流の家元

親任官以下五百名に陪覽を賜ふ

天皇陛下には波多野宮相、鷹司侍從長、內山侍從武官長等を從へ四月二十九日午後一時半能樂堂に出御、又　皇后宮には德川大夫心得三室戸主事其他女官を從へ同時刻出御、又東宮殿下には濱尾大夫、入江侍從長等を、兩皇子殿下には三好傅育官長其他の傅育官等を從へ

▲能樂殿に御成りありたり　而して　天皇陛下には能樂殿の真正面に設けたる玉座に著御あらせらる玉座は所謂　天子南面向に設けられ共左稍々段下つて　皇后宮の御座所を設く其の後背は東宮殿下の御座並に兩皇子各皇族方の御座ありて其れに稍々隔たりて親任官勅任官奏任官等順次居並ぶ能は正一時に始まり兩陛下始め奉り一同能本を開きて約五百名の視線一齊に能舞臺に放たる御能は先づ梅若萬三郎の

▲安宅に始まり　次いで狂言素袍落其の次に松本長の松風に移りて四時半一先づ休憩となる此の間天皇、皇后兩陛下始め奉り各皇族方には竹の間に於て御夕餐を召され又陪覽の人々は親勅任の高官は豊明殿に於て又奏任の人々は東溜の間に於て立食の饗應を賜りたり午後五時再び御能始まる能樂界五流の家元等全部の仕舞を演じて井上菊次郎の宗論に移り最後に金剛謹之助の小鍛冶附祝言を以て此日の天覽御能を總て終りたり時に七時半ごろ承はる抑も此日

▲御催しの御能は主として東宮御誕辰祝賀の意味にしあれば東宮殿下に於かせられても豫て調製の緞子表紙のいと麗しき御能本を御手に能番組通り全部御覽あらせられたるが元より殿下御能を御覽せられたるは今回は全く御始めにしあればか長時間他かず御覽ありて御興一入なりしと（東京）

◉皇后宮の初御撮影

本月中旬宮中紅葉山麓にて

皇后陛下には昨春　天皇陛下が御撮影の折丁度御懷姙中なりし爲め御日延となり居りしが愈來る五月十五日前後に紅葉山麓御寫眞場にて御撮影遊ばされる事に御內定相成りたり陛下には大禮服御著用の御姿勢、寶冠の御體裁、裳捌の御樣子などの御參考にとの思召にて近侍の女官數名をして大禮服著用の上、同御寫眞場に於て黑田御用掛、小川九木兩寫眞師等の手にて撮影せしめ、その全部を御覽遊ばされながらあれこれと互細に御研究遊ばされたりと漏れ承はる。御撮影當日御著用の大禮服の御地は御紋章入白緞子で全部冬の御裝飾東宮妃殿下御時代よりの御服裁縫師大島萬吉氏に御下命あり目下謹調中なり又御冠の寶冠はプラチナに高價の寶石を鏤めた誠に精巧を極めたる御品の由御撮影濟の上は東宮兩皇子各宮方を御はじめ各國帝室に御贈進、大勳位親勅任官各國大公使館及び東京奈良兩女子高等師範學校、學習院のほか文部省を經て出願中の各女子學校に御下賜相成るべしと漏れ承はる（東京）

◉故國へ歸る前露國駐日大使

自動車で總督官邸へ

寺內總督と歡談

前露國駐日大使マレーヴイチ氏は二日午前八時四十分龍山驛に到著した、これまで前後八年間日露親交の楔子として日本國民の頭に深い印象を遺したマレーヴイチ氏は本國に還らんとするの途次である、此の

◇名殘惜き外交家　をのせた臨時急行列車が定刻龍山驛の第二フォームに著くと中央に聯結した美しい特別列車の裡からは中折帽に背廣服を著けた白髯の紳士が現れ續いて紅いボンネットを戴いた花恥かしき婦人が現れた、紳士は當のマレーヴイチ前大使、婦人は大使の令孃であつた、岸驛長は直に案內してフォームに步を移すと其處には露國總領事館員を始め井口軍司令官、立花第十九師團長、古海憲兵隊司令官、森海軍武官、小松翰長、横井鐵道局技師等の出迎者が相並んで居たが

◇マ氏と令孃とは　謙遜に笑み湛へつゝ温かい握手を交したのであつた、斯くしてマレーヴイチ氏と令孃とは一名の侍女と隨員とを隨へつゝ貴賓室より驛頭に出で此處から更に自動車上の客となつて龍山總督官邸に赴いた、官邸ではまた寺內總督の懇懃なる出迎ありて階上客室に一時間あまりの歡談を交へ且つ朝餐の饗應もあつた、席には總督の他に猶伊小松翰長森海軍少將等も列した窓外打ち開きたる漢江河畔の麥畑には青い柳に桃の花など

◇美しき春の眺めは　これより西比利亞を經由して北の故國に歸る令孃にはこよなき慰藉であつたらう、總督は九時四十分自動車で此所を辭した、マ氏と令孃とは午前十時自動車で更に京城に向つた、車上には小松翰長と森武官が同乘して案內の勞を取つた

◉泣けば喜こぶ臀叩き

京城昌信洞鄭壽福は四月十七日午後十時頃同洞林英喜の妾金姓女（二五）が水汲みの歸途を捕へて惡戯をなしたるを探知したる同洞の金漢初（六一）千根浩（三一）崔明根（三一）崔應用（四三）等は協議の上洞中の習慣に則り鄭壽福を笞刑處分に行ふ事に決し同夜千根浩をして笞三十の臀叩きを爲さしめ鄭が苦痛に耐へ兼ねて泣き叫ぶより徐々興に乘つた擧句同人を疾病休業二日を要するに至らしめたる爲め何れも鍾路署に引致されたり

◉大斧で斬殺す

死刑囚上告棄却

咸南咸興郡德山面新德里楊應林（三一）は本年一月十六日同道洪原郡洪原面左中里曹東球なる者より賭博に負けた金一圓六十錢の支拂ひ方を督促せられ之れを免れんため同人を殺害せんと決意し曹を欺きて同夜德山面興慶里の山中に伴れ出し大斧を振り上げ不意に切りつけ頭部頸部等を滅多切りにして卽死せしめたる爲め咸興地方法院に於て死刑の宣告を受けたるを京城覆審法院に控訴したるも効無く更に高等法院に上告中の處此程棄却されたり

◉短歌會期日變更

七日の日曜午後一時より開會の筈なりし第三回朝鮮短歌會は諸種の都合により六日午後一時より植物園內にて開會すべく投稿締切は四日最終便とし會費金十錢貼附其他規程は既報の通りなり

京城の城壁（2）

廿萬人で九ケ月間に築いた

城壁で圍繞された京城の街は地勢が略ぼ京都に似て稍々少い、京都の面積は二平方里二八であるが京城の大さはその半分しかない、街を取り圍むだ山の高さは一般に北漢山方面の北側が高いので京城周圍全部の平均海拔は　百三十七米突の高さ　を以て護られて居る、外壁に圍まれた街の形は葉の尖端を南にした木の葉のやうで東西が狹く南北に長い、併し此の南北に長い事が解つたのは極めて最近の事でむかしに作られた京城の地圖は何れも東西に長く書かれてある、現に明治三十七年公にせられた東京帝大工科の學術報告にも東西に長い京城を畫いて居るが是は（城下に鍾路の大通りや）水標橋の下を流るゝ（淸溪川などのために）一の錯覺に誤まられたものである、此の點から云へば明治十二年海津三雄氏の書いた本に『目錄を以てすれば東西一里半南北一里半なり』と記したのは確かに卓見であると云はねばならぬ──以上は總督府技師中村新太郎氏のはなしであるが却々興味ある事である、次ぎには朝鮮の年貴族M氏の說を紹介しよう由來漢城の地は高麗時代に南京と呼ばれて居た李朝の初めには忠南の鷄龍山に都せんとしたが　當時の國都たる開城からも遠距離なので今の京城に定めた　ものであらう！、城壁は太祖李成桂の時に約二十萬人の人夫を使役し九箇月の日子を費して築造した土城であつたが例の諺文を創始した世宗大王の時に今の石壁に改築したものである。城壁中で最も高い北岳は白岳または負岳とも云ふが負岳は北岳に發音が相通ずるのとまた景福宮の後方に負ふといふ意味でもあらう、廢頽せる城壁を守る城門には春風秋雨五百年の古き歷史もなかく〱に多いが櫻桃名所の東小門は以前弘化門とも呼ばれて居た、それが今の惠化門と改名されたのは成宗大王の時、今の動物園に昌慶宮を建て其正門を弘化門と命じた時に始まる、西小門の昭義門は初めまた昭治門と呼んで居たが妃章順の尊號と同じなので改稱したといふ。また城壁の修築或は位置の變更は往時なかく〱の大問題となつて工事には禁衛大將なども立會したものである、更に城壁の間には長さ百間毎に城廓を設けて其處には常に四五人の哨兵が睡つて居た、城廓の悲底には一朝有事の際食鹽の缺乏を慮つて大量の食鹽をも貯藏して居つた

木覓山はむかし烽燧臺のあつた處で山上には（傍城諸士の南山御歩ち）五つの信號臺があつた、即ち一は咸境會寧方面より來るもの、二は鴨綠江義州方面より、三は仁川四は釜山から信號されたものである、即ち八道の危急平穩は皆此の烽火によつて國王に報じられてあつた、併し時には冤罪にあつた無辜の民には（王に直訴する爲めに）此の烽火をあげる事も許されてあつた

◉關門海峽の大暴風雨

發動汽船及漁船十六艘行衞不明

去三十日の關門海峽に暴風起り見島沖合出漁中なりし漁船十六艘行衞不明となりたり又下關唯の町西村惣四郎所有石油發動機船第二戎丸（十噸）は廿八日夜大津郡通浦より生鯖七千尾を積載門司に向け歸航の途中暴風雨の爲め行衞不明となりしより水上署は直に該方面に出動中なる警邏船防長丸に乘込める警官に電命して搜索に向はしめたり（門司電報）

◉又も聯絡船から投身

二日朝入港の聯絡船櫻丸乘客下船後六寸八分白鞘短刀一口金子四十四圓及び佐賀縣杵島郡東川登村森こう同縣若木村井中伊千兵衞宛の遺書二通あり乘客森義一（四二）の行衞不明にして武雄より釜山迄の切符あるより投身したるものとして目下取調中なり（釜山特電）

◉機密書類紛失

常磐艦の不祥事

軍艦常磐にては突然機密書類を紛失し艦內に於て嚴探中なり（東京電報）

◉八幡製鐵所貯水池

大決潰原因

八幡製鐵所貯水池決潰の原因に付き技師の談に據れば同貯水池は去明治三十二年の設置に係り元鐵道線路のアーチの所を埋立て堤防としたるものなれば埋立に不完全なる所ありし爲め次に水浸み込み今回の慘事を演せしものにして一朝一夕に突發せしものにあらず今回決潰の場所の外何處か注意を要すべき箇所ありと（福岡）

◉鳳一行臺灣より歸る

東京相撲一行百五十餘名二日朝信濃丸にて臺灣より入港出雲海、鳳等は汽車にて東京に向ひたり（門司特電）

□此頃流行する子供の感冒

熱が出たなら

この頃の樣に朝夕の温度が激しく變る時は、子供はよく注意をしないと

□感冒にかゝる事が多う御座います。そして感冒が因でいろ〱の病氣を引起し、取返しのつかぬ事になる場合が澤山に有ります

□身體がだるいとか食物が進まぬとか、かるい咳が出るとかするのに、かまはずに捨置くのは宜しく有りません

□子供は少し氣分が惡いと顏にも現はれるものですが、それにも注意しなかつたり、又は僅かの感冒位と云つて

□お湯に入れて寢かしたりなどする無謀な親がありますが、これは實に恐ろしい事で、若し少しでも間違へば

□肺炎になりますからよく〱注意せねばなりません。又突然三十度、四十度と云ふ高熱の出る事も有るが、かゝる場合は猶よく

□注意しないと扁桃腺などにかゝる事も少くありません。子供は大人と異つて診斷もむづかしいですから、少しでも異常のある時は

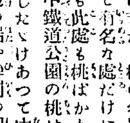
□早速醫師に診察を乞うて、これ等の病氣に罹らせぬ樣豫防をしてやらねばなりません。感冒に就いて注意すべきは、第一

□濕氣のある衣類を著せたりするのは勿論、雨天の時に少しの雨だと云つて傘を持たさずに濡れて歸らせたりするのは宜しく有りません。

□非常に感冒の原因になりますから出來るだけ乾ききつた衣類を、少し暖い程に著せて置くのが宜しいです。また百日咳や猩紅熱などの

□病氣にかゝつて居る子供のそばへは、決して寄り付かぬ樣に致しませぬと之等の病氣は時季を選ばずに罹る傳染病ですからよく〱注意せねばなりません

すとごろ



開城は昔から桃の名所として有名な處だけに何處も此處も桃ばかり▲就中鐵道公園の桃の淸遊としては趣味ある試であると

往時の城壁巡りは一に巡城遊と稱し武將の守城軍を監督の爲めにも試みられたがまた文人雅客の訪花隨柳のためにも盛んであつた兎に角陽春の淸遊としては趣味ある試であると

丹精を罩めて培養したゞけあつて中々美事なものだ▲池の端や碑閣の周圍には數百株の吉野櫻も植られて爛漫と咲き亂れて去三十日の日曜が桃と櫻の眞盛りであつた▲然るに丁度此日開城では毎日申報の開設五週年記念祝賀會が彩霞洞で開かれたので市民は擧つて彩霞洞に押し寄せ京城では加五里や牛耳洞の櫻にスツカリ氣を取られたものと見えて只一人の花見客も行かなかつたさうだ▲公園の茶屋の婆さんは『三十日の日曜には京城から大勢のお花見客があるものと樂しんで居りましたら京城からは只の一人も御出にならず開城の町から子供連れの御客が七八人ばかりありました▲いくら無心の花でもこんなに立派に咲き揃つて居るものを斯う淋しくては嘸かし怨言を繰返して泣いたことであらうと思ひます』は花よりも婆さんの心中であつたらう

◉永安橋畔に保護會

撫順は戰跡保存會の區域外なるかの如く今日迄考へられ、撫順……設地點は馬群丹に內定して居ることを語り同地に向け視察の爲め廿六日……を希望し居れり（撫順）

◉氣の早い支那人

日露の情……

……又露覺城子驛は將來滅絕すべきを豫想して土地の賣却を爲さんとするも……客なきと困り居れりと

……阪上某國人アーピッセ氏方へ强盜に押入り更に同夜同地に於て鮮人盧潤稷方に入り妻金某……にて射……

山入港對馬丸一二等客　△一等（九名）川島毅一、同ふみ子、寺西幸作、牧山耕藏、中村長五郎、外人二名△二等（四十八名）藤田長二郎、吉野政太郎、柳井たつ、同太郎……

……郎、靑木十三郎、鶴川德一、關口閑枝△三等（二百廿四名）

一日午後入港薩摩丸一二等客　△一等（七名）マーザイスキー外二名外人二……

天氣　西風晴れ　五月三日

活動大寫眞來

シエンキーウイツチ傑作　新版「何處へ往く」長尺

五月三日（水）四日（木）五日（金）六日（土）四日間開催

會場　壽座

主催　京城青年會

巴里に開催の聯合國經濟會議參列の爲め渡歐せらるゝ阪谷男爵一行來る三日入京に付官民有志にて歡迎會相催し且其行を盛に致度候間一般の御來會を希望仕候

一期日　五月三日午後六時半

一會場　朝鮮ホテル

一會費　金五圓（當日御持參の事）

一申込所　京城商業會議所又は京城日報社

大正五年五月一日

發起人（いろは順）

石塚英藏　原田金之祐　岡正矣　小幡虎太郎　金谷充　高野省三　野田卯太郎　松永武吉　趙重應　子爵趙鎮泰　荒井賢太郎　阿部充家　勝田主計

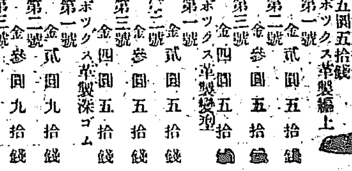
寫眞

寫眞出張撮影　寫眞銅版、亞鉛凸版

最も熟練せる技術を以て最も低廉に迅速と可成親切を旨とし御需に應じ候

京城日報社寫眞製版部

●信用ある東京三金の特賣



ボックス製長靴　長サ一尺三寸金四圓八拾錢　長サ一尺五寸金五圓五拾錢

ボックス革製編上　第一號金貳圓五拾錢　第二號金參圓五拾錢　第三號金四圓五拾錢

ボックス革製變型　第一號金貳圓五拾錢　第二號金參圓五拾錢　第三號金四圓五拾錢

ボックス革製深ゴム　第一號金貳圓九拾錢　第二號金參圓九拾錢　第三號金五圓五拾錢

右の均一靴は精選せる材料に熟練なる技術を以て最も入念に製造せし品なれば一般官用紳士靴として好適なり

▽御注文の節は靴種類と足袋の文數御通知あれば代金引換小包（送料實費）にて送附す

最新目錄無代進呈

東京市芝區愛宕下町　三金高等靴店　電話芝一六九〇番　振替東京一七一二三番

文章世界

五月號

▼くもり日……田山花袋

▽處女作の回顧……正宗白鳥

小說　花時……德田秋聲

女の家に行つて……中村孤月

▽四月の文壇……中村星湖

雜感……武者小路實篤

□ジャック、ロンドンの小說……廚川白村

●死者不滅の說……メテルリンク　御水柳三郎

●現『文叢』の人々……平塚明子

□排性の主張に對して（晶子氏に與ふ）……坂本紅蓮洞

●ドガとルノアル……大野隆德

□文壇立志篇……

□明治二十五年前後の文壇……武田營城

定價廿五錢郵稅二錢　東京本町　博文館

營業品目

肥料部　蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、星印配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料

石鹼部　化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達

京城東大門外紅葉町　朝鮮肥料製造所　電話二六三五番

京城岡崎町一四番地　朝日石鹼製造所　電話二五六四番　電話九七三番　振替口座京城四〇〇番

發賣元　京城南大門通二丁目　大塚合名會社京城支店　電話四〇一番　振替京五七〇番

天氣豫報 暴風警報の改正に就きて

‖平田觀測所長の談‖

今回總督府訓令を以て天氣豫報及び暴風警報發表方の改正あり來る十五日より實施の筈なるが其の要旨は警報にありては從來警戒區域を南部中部と云ふが如き名稱を用ひたるも之を廢して

▲道名か著名なる

地名を以てすることゝ爲れり之れ從來の區域は餘りに廣きに過ぎる嫌あり例へば中部の西岸は群山より鎭南浦に至り東岸は迎日灣より水源端に至る區域を含む故に等しく中部と云ふも西岸と東岸とは暴風去來の狀況を異にし又場合に依りては西岸にても群山地方には暴風起れるも鎭南浦附近には影響無きことあり又單に暴風のみにて雨を伴はざるときは沿岸の船舶の爲に

▲警戒の必要ある

も內陸地方には其の必要無きことあり斯く地方に依り狀況を異にするを以て豫め一定の區域を定めず場合に應じて指定することゝなれり今後は主として各道を單位とし更に道の內沿岸地方のみの場合と內陸沿岸共に含まるゝ場合とに區別せり例へば京畿道黃海道の沿岸地方を警戒又は京畿道江原道を警戒と云ふ如し第二の改正の點は

▲警報の有効期間

を定めたるなり從來警報は之を發表したる後何時間にして暴風雨來るや又は經過し去るやは示すことなく要するに警報は將來何時間又は何日間繼續するものなるかに就きては何等指示する所無かりしも今回は觀測所に於て發表したる後二十四時間を有効期間と定め二十四時間以內に天候恢復せんとするときは警報を解除することゝ爲れり又二十四時間後尙警戒の必要あるときは

▲更に警報を發す

ることは無論のことなるが從來の經驗に依るに朝鮮にては天候不穩となるも槪ね十四五時間にして恢復すること最も多し故に七八時間前に警報を發するものとせば有効期間を經過すると同時に天候の恢復する場合多かるべし之れ風雨の伴ふ所の低氣壓は支那方面より來り東進して半島を貫き日本海に出づるもの多く其の半島を通過するに普通十時間內外を要し其の前後に風雨を伴ふに依るなり時として

▲連日風雨を見る

が如きこと無きにあらざるも其は引續き別箇の低氣壓の襲來に依るものにして警報發表の形式より云へば別箇の警報となすべきなり故に今回有効期間を定められたるに依り多くの場合に天候恢復期をも同時に示すと同樣の效果を來たすことゝなり利用上好都合なるべし因に本邦內にては警報の有効期間を定めたるは獨り朝鮮のみにて未だ他地方に見ざる所なるが之れ朝鮮の地勢上最も適切なればなり天氣豫報に於ては從來午後三時に發表する豫報を午後五時迄と改めたるのみなり

▲豫報發表の時刻

を延ばしたるは改良にあらずして改惡なるが如きも之に依り豫報を一層正確ならしむるを得る見込なるを以て其利益は發表の遲延を補ふて餘りあるべし從來午前六時の各地の觀測を一旦觀測所に集め更に之を一括して測候所に通報し測候所は之に依て調査したる上豫報を發するものなるが過般通報の方法を改ため午前六時の觀測の外に第二回として正午の觀測をも同樣に通報することゝなれり依て右二回の觀測を基礎として査する方

▲天氣推移の狀況

を明らかにし豫報の正確を期するを得るなり只之が爲に少しく發表時間の遲るゝは又止を得ざるなり測候所に於ては第一回の通報に依りて午前十一時頃には翌日の天候の豫想を大體定むることを得第二回の通報を得て午後四時前後に確定的の豫報を發表するなり故に大體の豫想にても速かに知りたき向にては正午前後に測候所に問合はせらるれば可なり

◉瀨戶內海の回遊飛行

民間飛行家尾崎行輝氏は四月二十八日午前七時五十三分岡山練兵場を離陸し高度千三百米突にて岡山市街上を一週し九時十八分一旦下降したる後更にガソリン五貫（一時間半の航空量）を搭載して出發し琴平詣を爲さんと企て兒島山脈を越えて瀨戶內海を下瞰し一直線に飛揚したるが向ひ風にて時間を空費し琴平迄行くこと能はず丸龜城丸龜練兵場の空を一周し追風を受けて同一航路を取り歸著したり猶廿九、卅日兩日は午前八時と午後四時の二回飛揚卅日は東山招魂祭の上に螺旋飛行を爲すと（岡山）

□元山の櫻

祭の日足は次第に延びる、長閑さに浮れ出したい今日此頃、我が元山の爲め具特觀念に思ふのは櫻の花の乏しい一事である。戰爭前赤田橋畔に植ゑた櫻は無粹な山人が枝を折る爲めに發育充分ならず、大神宮山金平山のは未だ花を見て樂むといふ何には至らぬ。僅かに人家の垣根や庭に咲き綻びつゝあるばかりだが強いて目立つものと云へば[illegible]官舍附近であらう。殊に鮮銀支店長舍宅の櫻は稚木ながらもよく花が咲き揃つて居る。

（寫眞は鮮銀支店長舍宅の櫻）

◉赤十字社總會

日本赤十字社にては來五月六日午前十時 皇后陛下の臨御を仰ぎ東京日比谷公園にて總會を開く由其次第左の如し

△午前八時職員參著△午前九時三十分招待員及社員一同參著△號砲に依り諸員會場標示の位置に整列△皇后陛下著御（奏樂）便殿に於て御休憩△總裁殿下御臨場（奏樂）△社長開會を宣告す△事務並決算報告△皇后陛下臨御（奏樂）△令旨を賜ふ△總裁殿下奉答△閉會（號砲）入御（奏樂）△還御奏樂△諸員退場

◉横領前後十六回

福岡縣三瀦郡三又村生れ當時京城黃金町二丁目竹內某方雇人緒方久雄（二八）は油賣り集金或は注文取り等に從業中本年二月二十九日龍山彌生町松永某より取立てたる代金七圓を横領消費したるを手始めに四月二十日迄に前後十六回に亙り京龍各町の得意先より集金したる商品代合計百五圓餘を悉く横領して新町或は桃山遊廓にて全部遊興消費したる爲め本町署に檢擧されたり

◉商品を胡魔化す　京城　鈍

路四丁目居菱允燮（二）は本町二丁目某店の外交員として雇はれ居る間店の商品金庫一個を長沙洞金德昌に八十五圓にて賣却し內金三十圓を横領したるを手始めに今日迄前後十一回に渡り京城府及び高陽郡各地にて商品なる椅子、吸取紙、帳簿、謄寫版等を賣り込み其の集金したる代金の內約百二十五圓を横領して遊興費に消費したる爲鍾路署に檢擧さる

寶典　その日だいどころ

▲筍の味噌煮　筍を茹でてより皮を剝き、まはりをこそげて一分位の厚さに切り、別に鍋に[illegible]に切り置き、味噌は普通の味噌汁よりすこし濃目に溶き、鰹節をいれて漉し、味淋少量加へ（この中へ前の二品をいれて煮こみ椀へとり上より木の芽二三片落して用めます。

▲浪花館　竹本團昇一座　三日三日夜の語り物如左 △御祝儀（入登）△廿四孝四段目（朝昇）△海の山兵衛樂町（伊達若）△御所櫻三段目（長花）△朝顏日記宿屋の段（昇六）△太功記十段目（長春）△明烏六花曙山名屋の段（伊達若）△寺子屋の段（團昇）△大切忠臣藏七ツ目一力茶屋の段（魁一昇掛合）

▲御成座　新派中村榮一行三日夜の替り狂言は一番目半面美人全十一場喜劇舞合にて也

商況

東京株式特電

（一日大引）[illegible]

債券現物特電

（前日との比較）[illegible]

東京公債直取引特電

（前日との比較）一五〇、〇〇 [illegible]

深川在米特電

二日現在高 [illegible] 九五、〇〇

東京期米特電

二日前場 [illegible]

大阪期米特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

下關期米特電

二日前場（押目買）[illegible]

雜報

◉石油の眼先觀

スタンダードの米油並にライジングサン社の[illegible]油は何れも本國市況の奔騰に船腹不足の影響より强固なる販賣方針を發表し各地販賣者の手持ありて絕對に建値を勵行する旨を告げ旁々成行の模樣を警戒しつゝあり而して日石寶田兩社は製品多少停滯の傾向は免れざれど然りとて外油の態度斯の如く大體賣進む方針にあらざれば從て

內地油の協定維持の姿

なるより幾分販賣者側の意向に反する模樣なれど燈油の市價は目先持合の外なきが如く一面不需要季節なれば取引不振も當然の事として觀測するならんかと

◉綿糸は好勢

[illegible]

◉片栗粉の近況

[illegible]

一圓高を報ず

[illegible]

◉金巾類强硬

[illegible]

移出强硬の人氣

[illegible]

◉仁川在庫穀物

[illegible]

◉四月中釜山穀況

[illegible]

確實　迅速

[illegible]

◉生果類の近況

[illegible]

◉新茶入荷す

[illegible]

下關相場

[illegible]

京城正米

[illegible]

京城雜穀

[illegible]

利　仲買店

仁川米豆取引所仲買人 [illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

釜山穀市場

[illegible]

生魚市場

[illegible]

田中仲買店

[illegible]

仁川期米

二日前場

十二錢高の入電

更に七十二錢　新高値に上伸　八十錢丁

度々漸落移り

[illegible]

市場雰閑

依然保合ひ

[illegible]

物多く同事に戻り押目は買

本場氣乘らず

仁川市場に高下頻々

在庫品減少す　前回より減少

米の弗々移出し白　一萬叺移出　增加

目先小相場乎

前場新高値

最安値十圓十九錢

新高値を顯出

仁川米豆取引所

一日の七月限 [illegible]

賣買組高

[illegible]

小賣白米

[illegible]

演藝案內

御成座

電話二一九一

[illegible]

黃金館

黃金町四丁目　電話二六三七

[illegible]

壽座

本町　電話五七八

[illegible]

浪花館

明治町　電話二六〇番

大阪女義太夫大一座

[illegible]

壽館

電話一〇五〇

[illegible]

大正館

櫻井町　電話八七三

[illegible]

質
京城黃金町二丁目（永樂町停留所北入）
堀佐營業所
（電話六三九番）

くすりは山岸
諸官衙御用達
洋藥　賣藥　卸問屋
醫療及試驗器械
懇切叮嚀、迅速確實に市內配達及び地方通信販賣致居候
京城本町二丁目郵便局前
山岸天佑堂　藥品部　器械部

小兒科專門　內科
京城旭町三丁目（元十全病院跡）
若槻醫院
ドクトル メヂチーネ　若槻寛隆
電話二四六二番

營業品目
洋鐵、洋釘、鮮人向鍋釜
浪平板、亞鉛線、鐵條網
銅鎭鍮板及地金雜鑛類
直輸入卸商
京城南大門通三丁目
天　福田又京城支店
電話京城二一二番
振替京城二九二番

大阪市北區堂島濱通二丁目
曾我商店
大阪堂島米穀取引所仲買人
曾我一郎商店
▲電信略語は改訂候迄從前の橋本商店の分を御使用被下度候

開業
[illegible]

廢業
[illegible]
橋本猶作商店

藥劑師　講師
東京藥學會

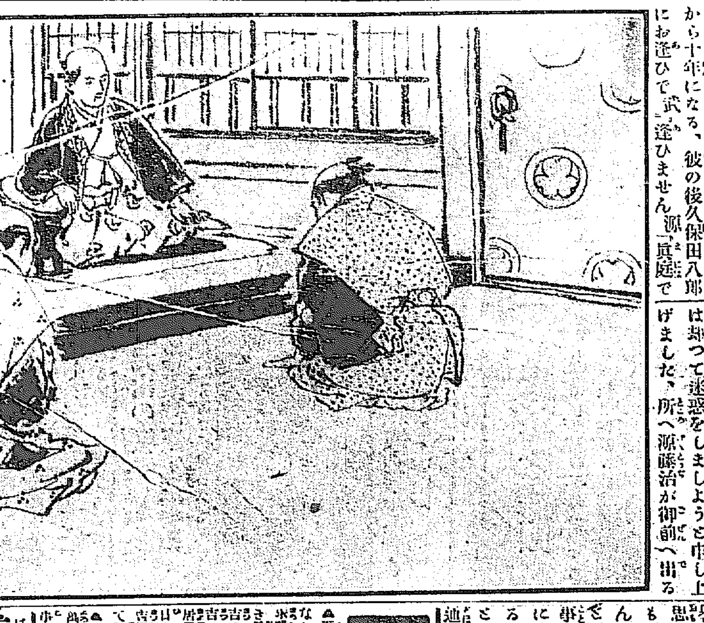
水原停車場前
優良種子　純正苗木　販賣
富國園
營業案內進呈
主任　農學士　北澤小入

宮本武藏

第二十六回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

山本源藤治の妻は上方者であるから如才はない　妻『妾は源藤治の妻隠枝と申します、幾久しく御別懇に願ひます、今度は御遣方を能うこそお出でゝございました、夫も毎度貴方のお噂さを致しまして、宮本様に久しくお目に懸らない、何うかお目に懸りたいと申しまして、今朝も貴方のお噂さを致して居りました』源藤治も驚いた、嘘をいふにも程がある、源『宜いからお前は彼方へ往きなさい、武藏先生暫らくでお別れ申してから十年になる、彼の後久保田八郎にお逢ひで　武『逢ひません　源『眞庭で修業致して居る時、三幅對といはれた貴公と拙者と久保田八郎、彼の後木崎で久保田に逢ひましたが、相變らず酒の上の悪い男で、ドウでも宜いが武藏先生一寸お屆けをいたして參るからお待ちを願ふ』と源藤治は上下を著けて御殿へ上り御前へ出ると御酒宴の最中、源藤治を呼べと君公が仰しやつた處お側の者が　○『源藤治殿は只今珍客が參られたさうでございますからお止し遊ばした方が宜しうございませう』と申上げた、何で客があるのを存じて居るかといふと、源藤治方へ客が來ると、御臺所へ肴を貰ひに來る　使『エ、願ひます山本から參りました、御料理を二人前願ひます』　料『御料理を遣る、赤來て　使『山本から參りました、御料理を三人前願ひます、お客様一人と旦那様御夫婦　料『能く客の來る家だ今日來たのは誰だ、詩人か文人か、俳諧師か碁打か、將棋指か亦は坊主か　使『イエさうではございません　料『何だ　使『何だか劍術遣ひの樣で　料『何どいふ名前だへ　使『別懇々々といつて居るからベツコンといふ名でございませう、どうか本式の料理を願ひます　料『何日だつて本式ぢやアないか　使『時々瞞着して可ませんよ名古屋にも斯ういふ料理があるといつて、江戸ツ兒を驚かせるつもりで……』此の話を聞いて居たものがあつて、君公へ今源藤治を呼んでは却つて迷惑をしましようと申し上げました、所へ源藤治が御前へ出る



君『オー源藤治出て來たか、其方の宅には客があるではないか　源『御意でございます　君『女客で話が合はぬから妻に任して參つたか　源『イエ男子でございます　君『何れから參つた舍弟でも參つたか　源『イエ小笠原右近將監家來宮本武藏と申す者で、十年前上州眞庭の樋口の道場で兄弟の約を結び、御城下を通行の節立寄るやうにと折々書面を遣りましたが今度上方へ所用あつて上りますに就いて御城下へ參りました、其で二三日逗留をさせる心得でございます、此儀御屆け申します　君『ハア其宮本といふのは小笠原の家來で二刀流といふ劍法を編出した當時有名の宮本武藏のことか　源『左樣で　君『其は宜い者を兄弟に持つて居る、毎度武藏々々といふ話が出たが其時其方は兄弟分といふ事を申さなかつたではないか、源『ヘエ　君『宮本武藏位の兄弟を持つて居乍ら言はぬは感心だ、能ある鷹は何とやら奥床しい心懸けだ、何方が兄ぢやな　源『拙者が年長で兄でございます　君『年内は逗留させて遣はすが宜い、して宮本は酒を飲むかな』サア困つた、飲むか飲まぬか初めて逢つた許りで解らぬ　源『ヘエ十年前には少々飲みましたが只今では如何でございますか　君『酒といふものは上るものだ定めし酒を飲むであらうコレ／＼宮本に酒肴を持つて往つて遣はせ』其から酒や肴がドン／＼宮本の所へ來る、誰も彼もさういふ名譽の人であるに依つて交際したいと思ひ山本の所へ來る、武藏先生は是も源藤治殿のお庇蔭と泪を滾して居んで居る、翌日になると山本に武藏と同道して罷り出でるやうにといふ事になる、其所で武藏は源藤治先生に隨がつて衣服を更ため御前へ出でる、武藏は陪臣の身を以つて、隱居とはいひ乍ら前大納言義直公の御目通りへ出られるのも藝道の徳である

婦人科 産科　二宮醫院
京城壽町四一
醫學士 二宮亮吉　電話一三〇一番

五月四日九星
舊四月三日 辛丑
本命 五黄 八方納 赤口

▲五黄●錢間數物有る日新事見合南方は吉 なし▲六白●大謂大當りの日轉居開業入學會談 求職出資婚姻證人新築等萬吉▲七赤●折合のよき日轉居求職入學名弘合作造船訴訟の示談等吉▲八白●甘し辛しの事有る日新事手控移轉は吉一切のせわ事を禁ず▲九紫●吟味の屆く日轉居行商入門名弘研究求職談組等吉物に防の日▲一白●接のあはぬ事有る日新事手控移轉は吉買物に用心せらるべし▲二黒●他のせわ事にて散財を醸さんとす新事手控移轉は妨なし▲三碧●仙人行儀の事有る日新事手控移轉は吉出丁寧にせらるべし▲四綠●勞多く効少き日新事手控移轉は妨なし

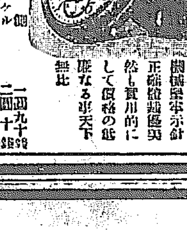
博士發見の毛生へ藥

田中醫學博士發見

前東京帝國大學醫科大學皮膚科教授田中醫學博士が多年苦心研究の末此度發見せられた毛生へ藥フミナインは流石に名高い專門の博士が創製せられただけあつてこれまでのアリフレタ藥と違ひ禿頭病ぬけ毛、うす毛、腫物、かもち禿、眉毛、はへぎわ其他あるべき所に毛なきに用ひて少しも身體に害が無く奇妙に毛を生やし脱毛を止めますドナタでも東京芝愛宕町二の一東京藥院へハガキ一本御出しになれば手當と藥のくわしい說明書を秘密に封書で送られます

●新荷着アンクル式片側懐中時計●

機械堅牢示針正確精巧優美然も實用的にして價格の低廉なる事天下無比



十九形	鐵側	一圓九十
十八形	ニツケル側	二圓九十
十三平形	ニツケル側	二圓九十
十九形	同（機械表示）	三圓九十
十七形	同（兩蓋）	三圓九十
十八形	同	[illegible]
十九形	銀側	[illegible]
十六形	金鍍金	[illegible]
十二形	ニツケル	[illegible]
十三形	同 防水時計	[illegible]
十二形	同	[illegible]
十二形	同 ラヂユーム付	[illegible]
十一形	銀	[illegible]
十九形	鐵側金付	[illegible]
十八形	金ペリ（十年保證）	[illegible]
十八形	同	[illegible]
十二形	同	[illegible]
十六形	銀	[illegible]
十九形	十八金	[illegible]

右は今回新着の商品にて本商會獨り之を販賣す 御用命の節は[illegible]

小包郵便にて地方の御注文に應ず

時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國直輸入商

イングレツシー商會

本店 京城本町二丁目 電話九七二番

外科 皮膚科　瀬戸醫院

旭町二丁目（舊三丁目）
醫學士 瀬戸潔
（電話二九四八番）
診察夜九時まで

賛化病院
京城本町二丁目 電話二四番

内科 小兒科 入院隨意
每日五名を限り無料施療す

醫學博士 古城憲治
醫學士 上野亮藏

りん病

消渇で困る方 多年の慢性も治癒す

自宅にて人知れず安全秘密に良藥あり只一劑を試よ 其良藥と自宅療法の詳細を報す 郵券三錢送れ

名古屋市南かじや町 武藤亀吉

模範 純粹 牛乳
培養 ヨーグルト

太正堀肥醫獸場
京城蓬莱町四
東亞牧場
（電話五二廿）

閑靜にして避暑避寒に宜し

溫陽溫泉

女のくすりで一番よくきくのは命の母です

ソレハ何故……曰く

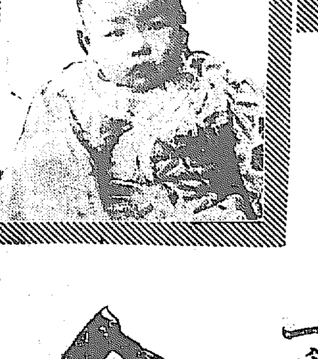
第一流の藥學博士 下山先生が

命の母は……婦人藥として坊間に存在せる諸藥劑に比して卓絕せる効驗あるを余は證明す

これぞ婦人の最良藥

女子出産の禮狀
福岡縣田川郡上野村 内山あつ子

健男子を産むた感謝
香川熊二郎君愛兒

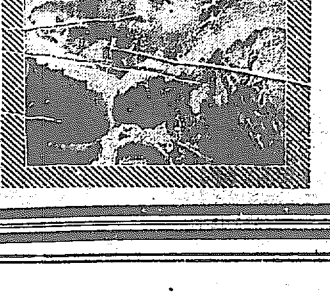


愛兒を擧げた
小倉市魚町一 畠中百合子夫人愛兒

女子分娩の喜び
福岡縣田川郡上野村赤池 内山あつ子夫人愛兒

男子出産の感謝
武州飯能町停車場前 横田貞二郎君愛兒

男子分娩しました
紀伊國田邊温泉 金谷安一郎君愛兒



こんないゝ子供

の出來たのは命の母で子宮病が治り身體が丈夫になつたからです身體を健康にするには北畠佐藤西巻三醫學士の書かれた

婦人病者の心得

を御讀みなさい本書には妊娠の原理から婦人病一切の治療法が詳しく說明して有升之は本家へハガキで申込次第無代進呈

早く試みへ玉へ

- ●白帶下なか血に苦しむ人
- ●脚腰冷えて頭痛する人
- ●子宮病にて下腹の痛む人
- ●逆上にて脊肩のこる人
- ●ヒステリー血の道の人
- ●月經滯り或は不順の人
- ●つわり又胸先へ差込む人
- ●卵巢炎●輸卵管炎の人
- ●浮腫痺れ痛氣の人
- ●腦神經衰弱の人
- ●貧血顏色悪き人
- ●頭痛眩暈に苦む人
- ●癇高ぶり、心悸亢進の人
- ●安産肥立ちを望む人

命の母藥價

二日分	廿五錢
七日分	八十錢
二週分	一圓五十錢
五週分	三圓

加減命の母	
五日分	八十錢
十日分	一圓五十錢
廿日分	三圓
二ケ月分	五圓

買方
到る處の信用ある大藥房にて頒藥せり。品切れの時は本家へ申込次第送る

御注意
命の母には數種の加減藥があるから本家へ申込時は容體明記あれ

命の母　子宮要藥　東京笹岡

東京京橋區新榮町四丁目一番地
本家 笹岡省三藥房
振替東京五〇五〇番 電京二二〇一番

京城日報

三日朝刊（夕刊と合せて八頁）

定價　一部金三錢　一ケ月金六十五錢（郵税共）[illegible]

廣告料　[illegible]

發行兼編輯人　奥田[illegible]　印刷人　[illegible]政太郎

發行所　合資會社　京城日報社　京城太平通一丁目　電話　[illegible]

大阪期米電（二日）

六月限	一三〇、[illegible]	一三〇、九〇
七月限	一三一、〇〇	一三一、六〇
八月限	[illegible]	[illegible]

宇治川水電　神戸電鐵　京阪電鐵　和歌山紡　合同紡績　[illegible]

大阪株式　[illegible]　後場寄付十三圓九十八錢、止め十四圓〆三錢

	寄付	高値	安値	止め
[illegible]	一三一、七二	一三一、六〇	一三一、六〇	[illegible]
[illegible]	一四一、二〇	一四〇、一〇	一四〇、一一	[illegible]

▲後場更に新高値

大阪後場寄付は[illegible]なく暴騰し十四圓十九錢と爲し落したるが今後は十五圓を高値として[illegible]に見つ（三）後場中限〇十一圓五十二錢四錢五錢[illegible]

平均値段　出來高　一萬四千三百五十石

一節	十一圓七十四錢
二節	十一圓七十三錢
三節	十一圓七十四錢
四節	十一圓七十六錢

經濟會議委員に望む

京城日報

佛京巴里に開かるべき聯合國經濟會議に、我國を代表して派遣せらるゝ、委員長阪谷男及び補佐委員諸氏の一行を、其の途次我京城に迎へ、且つ之を送るの機會を得たることを喜ぶ。

此度英露佛伊の諸國が、經濟會議を開催すべく、我邦にも參加を求め來りたるは、其目的とする所、聯合國間に經濟同盟を結び、以て獨墺の勢力を軍事上のみならず、經濟上にも挫かんとするに在るべく。即ち戰爭繼續中に、協同して經濟の事を營み、平和克復後の經濟戰爭に於ても協同して商敵に當り、且つ世界の市場より獨墺の勢力を驅逐し去らむとする目的に向つて、其手段方法を講ぜむとするに在るは、想像に難からず。而して聯合國が斯の擧に出づるは、言ふまでもなく獨逸を盟主とせる、所謂中歐關稅同盟に對抗せんが爲めに外ならず。近來獨逸に於ては戰時防禦の基礎が堅壞にある如く、戰後の經濟戰も亦堅壞政策に依て、自國及び聯盟國の商工業を保護し、競爭國の商工業を破壞せざる可らず之が爲めには中歐經濟同盟を作り、關稅同盟若くは特惠主義の關稅政策によりて、商戰國に對抗せざる可らずとの主張は、今や勢力ある輿論となり、將に實現せられんとす。

之に對して聯合諸國が默止する能はず對抗策として、經濟同盟を計畫するは、素より當然の事のみ。彼の英國に於てすら、自由貿易主義の砦を撤くに至りしを思はゞ、聯合國が如何なる方策を以て、今後獨墺との商戰に當らんとするかを、窺ふに足らむ。

我邦は求められて巴里會議に參加せむとす。思ふに今回の會議に於て提出せらるゝ問題は、多趣多樣なるべしと雖も、要するに經濟同盟を作らんが爲め關稅政策を協定するを主題とするならむ。今回の會議に我邦の參加するは、我が態度を決せむが爲に、先づ列國の意嚮を聽取するにあらず。從て參加の可否は論外にして、之れに依て決定せらるべき我が態度方針は重大なる問題たり。假りに此の經濟會議を、極めて實質的のものと解釋する時は、之に參加して決すべき我邦の態度は、最も愼重の研究を要すべし。從來の行掛り上、關係上、已むを得ず犧牲を拂うても聯合國と經濟政策を共同にするは、自ら其程度あり、範圍あり。故に列國が協定せんと欲する點が、我が經濟的立國策に如何なる變更を來すべきものなりや、我國の受くる利益と蒙むる不利益とは、最も愼重に考慮を要すべし。聯合國と經濟上提携するとしても、我國にとり重要なる商を阻礙する事なきや。例へば米國の如き中立國との通商を阻礙する事なきや。又若し聯合國双互に關稅の障壁を除去して、特惠的通商を爲すとせば、爲めに我が產業は其の發達を阻礙せらるゝことなきや。而して聯合國の植民地と我邦との通商關係は如何になるべきや。東洋に於ける我邦の競爭者は英國なりき。我邦が獨墺の勢力を我國の力にて東洋市場より驅逐せんとするに方り提携者より競爭せらるゝことなきや。經濟同盟に對する吾人の懸念は、數へ來れば一再に止まらず。從て巴里會議に於て、我邦より質問し、提議すべき緊要の事項亦頗る多かるべく、吾人は其の多からむ事を望む。

阪谷男始め各委員の責任は實に重且大、其勞や寔に想ふべし。幸に邦家の爲め、自重自愛し、其名は經濟會議なるも、半は外交的性質を帶びたる此の會議に於て、能く帝國永遠の利害を代表し、折衝宜しきを得て此の大使命を遂行せむことを希望に堪へず。玆に一路平安を祈る。

上杉鷹山公（五）

內務部長官　宇佐美勝夫

明和四年大儉實行の決意をなすや九月六日再び內使を米澤に遣はし、白子神社に左の誓文を奉納す。

連年國家衰微民人相泥候因大儉相行中興仕度祈願仕候決斷若於相怠忽可蒙神罰者也

明和丁亥九月六日　藤原治憲敬白　花押

（此の誓文の發見せられたるは明治二十四年にして奉納の年を去る百二十五年なり）

又天明五年封を世子治廣に讓るや、所謂傳國の辭として人君たるものゝ心得三ケ條を授く。即ち左の如し

一、國家は先祖より子孫へ傳へ候國家にして我私すべき物には無之候

一、人民は國家に屬したる人民にして我私すべきものに無之候

一、國家人民の爲に立たる君にて君の爲に立たる國家人民にけ無之候

右三條御遺念有間敷候事

天明五巳年二月七日　治憲花押

治廣殿　机前

惟ふに彼の歐洲立憲君主制の歷史に於て有名なる普王フレデリック第二世が其の嫡なる、ウキルテンベルグ公の新に位を繼きたる際與へたる訓戒に曰く。

ウキルテンベルグ國は汝の爲に存するに非ず、汝が其國に君として立つ所以は國民の幸福安寧を擁護するに在るを思ひ國民の幸福を先にし己の安逸を後にする事を忘るゝ勿れ

此の訓戒を讀む者誰か明君の視る處東西其軌を一にするを悟らざらむ。然かもフレデリック王が右訓戒をウキルテンブルグ公に與へたるは我安永三年に當り、治憲傳國の辭に先つこと僅に十一年なるは奇と謂ふ可し是に於てか知る治憲治國の一念は、「民の父母」の一語に在りしを。此の一念の外、公に於て一の邪念なく一の私なし。此の一念は眞に鬼神に通じ鬼神を泣かしむるものにして公の一世を通じて寸毫の懈怠なかりしなり。治憲の晩年或年の四月末頃、御用人某御輿の老女に對し談じて曰く、季候漸く暖和に向ひ老人に可なる時節到來したりと。老女嘆息し答へて曰く、妾等は唯夏季に向ふを憂ふるのみと。某怪みて其の故を問ふ。老女曰く、夏季來れば老公の御機嫌麗しきこと殆んど稀なり。天候日に照り續けば田畑堅牢となり耕作に不便ならむ、田水缺乏せむ、草取る百姓の暑氣に中りもやせむと御心を痛められ、霖雨止まざれば作毛青立とならむ、粟乾悪かるべし、米價騰貴せむなど、御心安からず。斯る事は何れの年も同じ樣にて秋稔の後に至らざれば御安泰の御氣色を伺ふこと能はずと。此の一條の逸話は以て公が民の父母たる心を一日も失はざりしを知るに足る。

放浪漫記

（三月十八日マショブラに於て）

大谷光瑞

此の地の降雪は非常にして四五尺に及ぶこと少なからず、山上は概ねパイナス、エキセルサとシトスニのオダラの巨木林を爲し甲は我が邦の松樹に類し乙は杉に類す（俗にヒマラヤ杉と稱す）樹香衣袂に薰じ、最も快適を覺ゆ、山上の庭園及び溪間の農家皆果樹を植ゑ、夏時來客の用に供せり。現に花期に屬せしを以て桃紅李白、杏花梨花、群芳妍を競ひ[illegible]の垂柳と相映じ江南の春色を[illegible]んとす、小生雪山の壯觀を承知致し候も此の地の春色の絕美なるを嘆賞せしは此の時に御座候、シムラを距り更に山間を行きマショブラの小村に達し一屋を租賃し當分居住の考へに御座候、此の地は海拔七千七百尺にして既にシムラを距るを以て更に晴霽の至るなく雪山の連續は東より西に至る杜工部の「窓含西嶺千秋雪」の眞景を味ひ申し候、唯相異るは東西の別のみ、風光は「浣花草堂」以上にして「門泊東呉萬里船」の便を缺ぐ如しと雖もシムラに至れば鐵輪一下ボンベイ、カルカッタ三日の間に在り地僻なりと雖も便なきにあらず、唯草堂の主人杜工部に比し萬里の差あるのみ、艸堂の周圍果樹頗る多く唯地寒にしてシムラに比し開花を遲れ杏花の外未だ開花せず則ち[illegible]に俟くを得べし、艸堂の四壁薔薇草蘿之れを攀ぢ杏青蓬の「春歸終南山」龍伯隱の「[illegible]溪中水、遙望北壁」の景に酷似す、唯溪中水なきは甚だ困難にして距離の甚下の流泉を酌まざる可らず雨季に至るまでは每日一哩以上の遠路に[illegible]に行ふ能はず是れ晩來の一浴亦[illegible]りに行ふ能はず是れのみ一難事に御座候風景を以てせば小生の「[illegible]」の如き我が邦に於て雖も當地に比せば泰山と蟻垤の如く殆んど對比を爲す能はず、蓋し雪山の風景は雪山以外に之を求むる能はず雖雪山に住するものゝみ是を知るべし、草堂の四圍松樹（パイナスエキセルサ）之を繞り天籟之れに和し仙窟の如し小生藏れに家に名くるに聽松草堂を以てす地僻にして人なく野獸頗る多し狐、猿の類跳梁せり、夜月雪山に高く猿嘯き松林に響く時は閑適の情なきに非ず、午牽の酷熱に比し殘寒尙ほ去らず僅に日午六十度を算し夜間松枝を燃き暖を取り、當分隱逸の考へに御座候、別に申上ぐべきこと無之從つて音信疎濶に流れ失禮致し候不惡御諒察被下度く候草々不一

雪山閑居書懷

我吟雪山歌、淸興因此發、好入名山遊、揮手謝城闕、雪山三千里、白雪淸人骨、我將棲此間、餘生老巖窟、貧富本是如浮雲、時光在電即超忽、

京日詩壇

○寄懷金雲養次松田學鷗韻　江原如水

曾聽耆臣[illegible]水親、詩篇成雪玉嶙峋、江山[illegible]里、欲問三槐樹下人。

評曰　[illegible]雅和簡、

[illegible]上秋水碧依[illegible]、[illegible]拱手立路、看取君卿[illegible]。

評曰　[illegible]中名品。

○賞梅　齋藤[illegible]

幽棲須鎖翠羅門、雪後水魂春夢痕、夜半伯招嫦娥月、媒疎影對東軒。

評曰　頗有俊氣。

○偶成

傾村醪讌吐長虹、雙鬢蕭陰晴雨風、休用世間遊戯術、排天門去度虛空。

評曰　且見氣魄之大。

○開梅信憶舊遊

不改帆衣笑舊容、漫題詩酒憶游蹤、夢魂年續江南畔、踏破紅塵對臥龍。

評曰　酒脫之作。

○盆松　成田魯石

一尺盆栽一尺松、饒之南嶽最高峰、軀蟠百里勢、知道今年歲在龍。

○同　上

一尺盆栽三尺竹、猗々翠色共年新、虛心勁節見君子、僞似功名面外人。

○三角[illegible]

白雪冠高大半擎、三峰一夜玉刪成、曉含杲日晴嶂影、秀色玲瓏映漢城。

評曰　格力遒勁。

日報歌壇

□二重の性　京城　鈴木吉郎

何時よりか我がすなる事をすべてみな芝居の如きやくなげと知る

われと我あはれ此頑くなをあやつるにつく〴〵倦きぬ今日と云ふ今日

さくら咲き日蔭の草も花つけぬ君が消息もたえて久しや

物みなが我れより去りてたゞ一つ二重の性の今日もあらがふ

わが心たま〳〵われを出でゝいとおほらかに我れを嘲へる

□　京城　都留子

春なればぬるゝもよしと雨の町美しき事ばかり戀ひつゝ行く

春の日はたゞかれ時のやるせなき君のまなざしかに笑めど

一瓶の酒にほけしを見守りぬ君が心とその酒料と

□柳御道　永同　遊奥子

ひそやかに二人し行けば衣ずれして緑の雨す柳御道

□籠の小鳥　龍山　岡本小鳥

春深かみ籠の小鳥は人慣れて唄ふなりけり暖かきひる

□戀衣　京城　水花

つゞら深くなげ入れ置きし戀ごころ今宵とりいでゝ見しかな

第六回決算報告

（自大正四年十月一日　至大正五年三月卅一日）

貸借對照表

負債之部　貸方

科目	金額
株金	壹〇〇、〇〇〇、〇〇〇
仲買信認金	貳、四〇〇、〇〇〇
法定積立金	六壹四、〇〇〇
別途積立金	壹、八〇〇、〇〇〇
當座勘定	參、六五八、貳參〇
末拂配當金	參貳參、六〇〇
繰越金	五六壹、五壹〇
純益金	貳、貳壹貳、八壹〇
計	壹壹壹、五七〇、壹五〇

資產之部　借方

科目	金額
未拂込株金	六七、〇〇〇、〇〇〇
[illegible]	貳四、四四六、八九〇
[illegible]	六、〇〇〇、〇〇〇
[illegible]	壹貳、八七〇、貳四〇
備品	參八九、五〇〇
假拂金	壹六六、〇〇〇
有價證券	五〇〇、〇〇〇
現金在高	貳〇壹、五貳〇
計	壹壹壹、五七〇、壹五〇

損益勘定

科目	金額
當期總益金	九、六五九、五六〇
當期總損金（營業費）	五、八〇八、九五〇
（仲買歩戻）	壹、六參七、八〇〇
當期利益金	貳、貳壹貳、八壹〇
前期繰越金	五六壹、五壹〇
計	貳、七七四、參貳〇

內

科目	金額
法定積立金	壹壹壹、〇〇〇
別途積立金	四〇〇、〇〇〇
役員賞與金	參參貳、〇〇〇
配當金（年八朱）	壹、參貳〇、〇〇〇
後期繰越金	六壹壹、參貳〇

右之通候也

大正五年參月卅一日

京城日丸水產株式會社

取締役社長　山口太兵衛
取締役　香椎源太郎
同　和田常市
同　秋吉富太郎
同　中村再造
支配人　伊熊延
監査役　關繁太郎
同　林田金次郎
同　進辰馬

前記之各項調査候處相違無之候也

▲廣告▼

地所家屋競賣

京城南米倉町貳拾貳番地（舊魚市場）土地百坪、同上建物木造瓦葺平家壹棟、拾貳坪　木造亞鉛葺壹棟地面石張四拾坪

京城南大門通五丁目六拾八番地（舊魚市場跡）建物木造瓦葺二階建拾四坪六合貳勺、同平家貳棟五拾參坪五合參勺、同亞鉛葺平家建附屬共參拾貳坪貳合

右本月十日午後參時旭町一丁目日丸水產株式會社市場ニ於テ競賣ス　此保證金壹割

詳細ハ京城日丸水產株式會社內伊熊延ニ御承合ノ事

大正五年五月二日

株式會社京城水產市場精算人　山口太兵衛　中村再造　關繁太郎

新刊書御案內　大阪屋號書店

書名	著者	定價
◎正續机上便覽	川岸藤吉	一、二〇
◎春淋論集	鵜澤總明	二、八〇
◎新英雄主義	茅原華山	一、〇〇
◎生物哲學	土田杏村	一、〇〇
◎滅び行く人類	兒玉昌	一、四〇
◎意志の力	安田[illegible]	六五
◎生きんとする努力	大住嘯風	九五
◎禪の立場から	鈴木大拙	八〇
◎縮刷思出の記	德富健次郎	六五
◎浮城物語	矢野龍溪	九〇
◎世界戰場の奇劇	サブロヲ中尉	六〇
◎犯罪と話	松崎天民	八〇
◎藝者の裏をもて御覽ますな	[illegible]	五〇
◎動物交尾の話	[illegible]	四〇
◎女と戀	風來山人	五〇
◎佐倉宗五郎	長編講談七組	三〇
◎天一坊村井長庵	同　六編	三〇
◎四季家庭園藝	酒井伯爵	一、二〇
◎怪人怪光	淡路呼潮	四五
◎少年斥候	原田中尉	三〇
◎名　金	エマーソン	五〇
◎快漢ロロー	前野怒濤	五〇
◎御即位式勅語述義	加藤咄堂	四五
◎日白生活	瀧本利子	九〇

京城本町　電話二〇八六　振替京城一二七三番

松田式ポンプ

御申越次第目錄送呈　朝鮮一手特約販賣　京城本町二丁目　釘本藤次郎商店　電話(長)四五番　二七七四番　振替京城二五六番

タングステン

月手延擁拔鎢及中根式マグネット鑛山機械は始政五週年記念物產共進會に於て鐵牌一等賞狀三を授與され朝鮮に唯一の光榮を得たる最初の受賞

京城南大門通五　電話一〇四番　中根商會

朝鮮彙報

朝鮮彙報　大正五年五月一日（定價二十五錢　郵稅二錢五厘）

主要目次

◎口繪（新設の總督府專門學校、半井洞の櫻花、湖南線榮山江の風景）
◎各道長官に對する寺內總督訓示
◎總督府立專門學校綱領
◎經國大典及其の後の法典　淺見高等法院判事
◎英國通信事業の概況（下）　矢野遞信事務官
◎江原道農林畜產技術員會同席上に於ける講演　中村總督府技師
◎篤行者事績◎三月中の朝鮮貿易◎二月中東京に於ける朝鮮米概況◎大阪對朝鮮貿易◎大正四年米實收高◎大小麥優良品種普及の狀況及其の栽培成績◎大正三年度地方費經營人工造林事業成績◎大正四年桑田反歩◎大正四年優良家蠶の販賣狀況◎遞信事業概況◎三月中の鐵道運輸◎河川調査の狀況◎タングステンとモリブデン◎朝鮮產脊推動物目錄◎公證事務に就て◎路上咯痰檢査◎大正四年中に於ける害獸特にヌクテーの被害及驅除◎白楊類挿穗の作成方法◎指紋に就て◎慶尙北道及忠清南北道に於ける棉作狀況◎慶尙南北道方言◎外國事情◎地方通信雜報◎質疑應答◎敘任及辭令◎統計◎法令及通牒◎判決例
◎朝鮮語の研究　新庄通譯官
◎投稿を歡迎す　原稿締切期限每月十日
◎販賣店　東京神田巖松堂、朝鮮各地の書店に販賣す
◎廣告料　一頁十圓　取扱店　京城　ウツボヤ書籍店

際限なく賣れる　長編講談

編	題名	口演	版
第壹編	木下藤吉郎	桃李演	十六版
第貳編	赤穗義士	如燕演	十六版
第參編	岩見武勇傳・笹野名槍傳	桃李演	十三版
第四編	伊達騷動	貞玉演	十一版
第五編	怪談牡丹燈籠・佐賀の夜櫻	圓窓演・宮岳演	十一版
第六編	天一坊・村井長庵	燕玉演	十一版
第七編	佐倉宗五郎・文殊九助	實演	最新刊

四六判每編五百餘頁　口繪二葉插畫八十個　■正價各三拾錢　送料一册六錢小包料二册八錢　三册十二錢　四册十二錢

□續刊　(8)由井正雪　(9)大久保彥左衛門　(10)紀伊國屋文左衛門　[illegible]五兵衛

東京本町　博文館

最新刊　露西亞語學階梯

東京外國語學校教授　帝國大學文科大學講師　八杉貞利編

НАЧАЛЬНЫЙ КУРСЪ РУССКАГО ЯЗЫКА

洋裝四六判　全一册　正價金一圓廿錢　郵稅八錢

本書は編者が多年教授の實驗に基き複雜なる露語文法を最適當なる順序に由りて習得せしめ且つ讀書及會話の練習に資せんことを目的としたるもの今や日露協約發表されんとして兩國の商業關係が漸く發展し來り邦人の露語學習の必要益々增加す斯際本書の出づるは誠に時好に應じたるものと云ふべし敢て露語の教授並に學習に從事せらるゝ諸賢の試用を薦む▼實價

大阪屋號　東京日本橋　大倉書店　振替東京三三八

果樹苗木販賣　平安效玉園

弊園は多年の經驗を以て育成したる各種優良なる百萬本の苗木あり其の種類の正確なる事他に比類なかるべし

外に特製剪定鋏、半田式噴霧器、袋製造器、要字に粉肥料、害蟲驅除藥品等、西鮮に於ける一手販賣をなせり、御希望の方に效玉鑑を進呈す

朝鮮平壤停車場通　電話三四六　振替口座京城[illegible]

支那船員同盟罷業

支那汽船會社に屬する船長高級船員中の九割四分及び印度支那汽船會社に屬する船長高級船員中の八割一分を代表する支那海岸高級海員組合は雇主に對し同組合を承認し船長の給料を二割五分高級船員の給料を一割五分增加すべしと申込みたれども雇主側が之を拒絕せる爲め組合員は同盟罷業を開始したり既に噸數の不足に困難しつゝある今日支那海岸貿易に對する一大打擊なり(上海特電)

愛蘭暴動漸次鎭壓

フレンチ將軍の報告に曰くダブリン市の郵便局は燒失せり多數の暴徒は捕虜となり其首領コンノリーは殺されたりとの報ありダブリン市に於ける暴徒は今や失敗の體にて愛蘭の暴動は一般に鎭壓せられつゝあり(倫敦電報)

獨軍佛機を破壞す

獨軍はヴェルダンの西方に於て佛軍の集注しつゝある陣地及火藥庫を砲擊し又聯合軍中央戰線の東方に於て一臺の佛軍飛行機を破壞したりと獨公報は發表せり(桑港電報)

陸軍更迭

二日發表さる

既報の如く二日陸軍將官進級更迭左の如く發表ありたり(東京特電)

陸軍砲兵工科學校長陸軍少將 武田三郎
由良要塞司令官同 鑄方德藏
任陸軍中將(現職の儘)
參謀本部第二部長陸軍少將 福田雅太郎
任陸軍中將免本職參謀本部附被仰付
步兵第三十二旅團長陸軍少將 高橋義章
任陸軍中將待命被仰付
憲兵司令官陸軍少將 小池安之
敎育總監部本部長同 山梨半造
任陸軍中將(現職の儘)
步兵第二十三旅團長陸軍少將 堀內文次郎
任陸軍中將待命被仰付
陸軍輜重兵大佐 青木源三郎
陸軍工兵大佐 佐藤正武
任陸軍少將待命被仰付
陸軍騎兵大佐 中山民三郎
任陸軍少將補騎兵第三旅團長
青島守備軍參謀長陸軍騎兵大佐 森岡守成
任陸軍少將(現職の儘)
陸軍砲兵大佐 石光眞臣
任陸軍少將補支那駐屯軍司令官
陸軍步兵大佐 奥村銳作
任陸軍少將補步兵第三十二旅團長
陸軍步兵大佐 武藤信義
任陸軍少將補步兵第二十三旅團長
陸軍經理學校長陸軍一等主計正 木村重行
任陸軍主計監(現職の儘)
陸軍少將 町田經宇
補參謀本部第二部長
支那駐屯軍司令官陸軍少將 齋藤季治郎
免本職
騎兵第三旅團長陸軍少將 鈴木莊六
免本職補陸軍騎兵實施學校長

大公使館武官

二日更迭發表

二日左の如く大公使館附武官更迭發表ありたり(東京特電)

支那公使館附武官陸軍少將 町田經宇
免本職
陸軍少將 齋藤季治郎
補支那公使館附武官
佛國大使館附武官陸軍步兵大佐 福原佳哉
免本職
露國大使館附武官 井染祿朗
免本職
陸軍騎兵大尉 橋本虎之助
補露國大使館附武官

航空大隊長更迭

二日航空大隊長更迭發表ありたり(東京特電)

航空大隊長陸軍工兵大佐 有川鷹一
免本職補交通兵團司令部附
陸軍工兵中佐 鳴瀧紫磨
免本職補航空大隊長

奥元帥夫人逝去

陸軍大將元帥奥保鞏伯夫人茂子は一日午後五時腦溢血にて逝去せり享年六十二歲

入學試驗期日

全國高等學校長會議決定

文部省に開會中の全國高等學校長會議に於て入學試驗期日に關し協議の結果七月十一日より十四日迄の間に施行する事に決定せり(東京特電)

阪谷男爵歡迎

阪谷男一行六名は二日夜聯絡船壹岐丸にて釜山棧橋頭には官民多數出迎へ一行は鐵道ホテルに休憩したるが其の間木村鮮銀理事外十八名同ホテルにて離迎會を催し一行は十一時發列車にて京城に向ふ(釜山特電)

阪谷男爵著京

既報の如く阪谷芳郎男一行は三日午前八時五十分南大門驛著一行は朝鮮ホテルに投せり

田所少將入京

海軍少將田所廣海氏は二日午後五時廿二分元山より入京巴城館に投ず

小松原氏出發

入京中の東洋協會長小松原英太郎氏は三日午前九時十分南大門驛發新義州に向け出發せり

東蒙の白音太來

其の發達顯著なり

東蒙古の地が支那移民に依りて著々開發されつゝある事は足一たび東蒙古の原野を踏みたるもの皆齊しく認むる所なるが四平街より鄭家屯に至る間の發達殊に著るしく四鄭鐵道の敷設は更に此の發達を促進し鄭家屯より更に奥地に向つて東蒙古開發の步を進むる事となるべく別して鄭家屯の西方二百四十華里に在る達爾汗旗下卓理克圖王の所領地たりし白音太來はその最も顯著なる發達を遂ぐべき地點と見做され居り此の蒙古王領地及び其の附近は渺茫たる一帶の沃野にして夙に東蒙第一の稱あり此の內六萬七千五百晌即ち面積約一千五百方地は蒙王の負債返却の爲めに拂下げ開放せられたる處とて支那人の此の方面に移住するもの益々多きを加へ目下約一千の人口と三百餘の戶數を算し大小商賈百五十內外を數ふるに至り猶ほ續々增加しつゝありと云へり尤も今日は猶ほ交通不便なる爲め支那移民の多くは農商に從事し蒙人との交易に重きを措き工業としては殆んど見るべきもの之なく移住民も多くは流動的にして土著安住せざる傾きあるも支那の軍隊警務機關、小學堂、其他の設備あり將來一大市區を形成すべき趨向を示し居ると云へば其の盛況以て想見すべく或は遂に鄭家屯を凌駕するに至るやも知れず但し日本人は僅に三四名の居住者あるのみにて其の業務も極めて不振なりと(大連)

吉林防穀解禁

昨冬吉林省に防穀令施行さるゝや間島にも一律に是が實施を見たるが之れ琿春地方及び間島一部の凶歉に依り住民の食穀缺乏を憂慮せる結果なれども同地方の現狀は當初豫想せられたる程凶歉深大ならざるのみならず近來に至りては地方貯藏品も相當存在せる事明となり且つ將來を見越して買收を爲せる間島琿春地方商人は目的齟齬して聚穀の停滯に苦しめらるゝの現狀を呈し延て一般市況の不振を增すに至りたれば支那官憲の禁令解除を申請するもの續出したる爲め官憲に於ても大に現狀に鑑み目下解禁の手續中なりと言へば遠からず實行せらるゝに至るべく朝鮮側に於ても之より近々食穀缺乏期に入る際なれば之か解禁は喜ぶべし(淸津)

經濟同盟と日本

志村勸銀總裁談(下)

▲事業界の前途 今日の時局は經濟上より觀る時は非常に重大なる時期なり歐洲の列强互ひに相爭ひ既に戰費を拂ふこと約九百億圓に及べり東洋の大市場は歐洲品の杜絕により大部分吾が手中に入り外國品の輸入杜絕は本邦の工業界を刺激し旁々前述の如き事業界の盛況を現出したり吾國の活躍すべきは將に此時なるが或は戰後其反動來るを說き財界の前途を悲觀する者あるに似たり多少の反動は來るべし然も予を以て觀れば事業界の前途は洋々として憂ふべき暗雲の遮ぎるものなし、何となれば列强が今回の戰亂により受けたる深甚なる創痍は其の治療に尙ほ千億以上の巨費を要すべく容易に其手を東洋に伸ばすの餘力あるまじ其間に吾が工業は益々發展して永く其の輸入を防止するの策を執り又輸出工業品は戰亂開始後各方面に築き得たる基礎と廣告とにより其の勢力と販路は縮少せざるべし尤も多少は外品との競爭の爲め收益を減少せんも一旦獲得せし東洋方面の市場は之れを維持するに大なる困難なく又吾が當局並に實業家は益々躍進して其の維持進んでは一層の擴張に努力せざる可からず

▲經濟會議參加 聯合國の經濟會議には帝國も參加する事となり委員阪谷男爵等は朝鮮を通過し渡歐すべし此經濟會議參加に就ては是非の論朝野の間に隨分喧しきが如し然も予は經濟會議に吾國の參加する毫も不可なし顏出しはして置くが良しと信ず、尤も日本の提案並に會議の議題等を未だ詳らかにせざれば具體的に其可否を論じ得ざれど要するに日本として要望すべきは英國に對する關稅上の改訂ならざるべからず現今の如く日印、日濠等の間に高率極まる關稅の障壁を設けられては吾が對印並に南洋貿易の發展は期し得べからず尤も此の關稅協定提議は容易に英國の承認を得る能はざるべけんも其の交涉の結果如何により千載一遇の機會に收め得たる吾が商權の維持擴大並に帝國事業界の前途に至大の關係あり委員諸氏の健鬪を希望せざるを得ず、尙戰後獨墺側に對し經濟同盟を締結する事の如何の如きは元來如斯同盟は自由競爭に委す可き商戰場裡に不自然のもの也然れども不自然にして實行不可能なればとて全然經濟同盟締結を排するは面白からず、若し敵國に對し經濟同盟締結の必要あらば或る時期を限り年數を定めて其の實行をなすも可ならずや

▲經濟調查會 經濟調查會官制の發布を見て予も委員の末席を汚し居れるを知れり本會亦紛々たる世論に包まれ居る如きが要するに有無に關る事萬々なるべく其の委員は各方面の主腦人士を網羅し居るに付やり方の如何により隨分の效を擧げ得べき手、元來日本に確乎たる經濟政策ありや、余等は未だ與り聞くを得ざる也經濟政策の確立、如斯は調查會事業中の喫緊なるものに非ずや、日鮮間關稅撤去問題の解決乃至は母國工業の繁盛に伴なひ內地農村の疲弊を救濟する一策として朝鮮の如き尙收容の餘地ある新開地に農民移植の大計畫を樹つる如き調查會恰當の事業ならずやと信ず右は單なる一例に過ぎざれど此種の問題にして調查會の調查に待つ所は決して少なからざるべし。

朝鮮帆船調查

二萬二千餘艘を算す

朝鮮に於ける帆船の最近調查を聞くに五噸以上二十噸未滿の分は一千四十八艘一萬一千三百四十六噸にして石數船は五十石以上百九十九石迄三千三百七十四隻二十七萬九千九十四石に上り隻數合計四千四百二十二艘なるが累年河海に於ける交通及び漁業の發達に伴なひ其の數を增加し之れを前年に比すれば約五百艘を增加し居れり而して其の隻數を各道別にすれば左の如し

京畿	一三三三	全北	一八五
全南	七〇〇	忠北	七二
平北	五六〇	咸北	五八
黃海	四七〇	江原	五二
忠南	四二〇	慶北	三九
慶南	四〇〇	咸南	二〇
平南	二七〇	合計	四四二三

海岸線を有せざる忠北に所有船あるは漢江上流の爲め又課稅船に非ざる五噸未滿五十石未滿の小船は其數詳らかならざれど約一萬八千艘內外に達する由

國境地形測量

臨時土地調查局技術課の國境地形測量は此程來豆滿鴨綠兩江沿岸深く入り込み各班共に其の作業を進めつゝあるが尙谷間山陰等には積雪堅氷を見作業の困難大方ならずと

北鮮の昆布と沃度

朝鮮沿岸にして昆布の附著は只咸北道沿岸のみにも北方に偏せる沿岸には著しく繁茂しつゝあるが此等昆布は多少採取輸出せらるゝのみにて他は地方居住者の自家所有に採取する位にて到る處空しく放棄せられつゝあり然るに昨年內地製藥事業勃興して以來昆布より沃度又は加里の製造盛んになり俄に昆布の價格騰貴し百匁十二三錢より二十七八錢を唱ふるに至りたれば咸北道の昆布も亦製藥界の注意を惹く所となり京城工業傳習所は目下咸北道昆布を取寄せ試驗の計畫中なるが濟州島に製藥所を有する石原某も過般來人を派して調查中なれば本年六七月頃昆布の採取期に入らば本道沿岸昆布の大採取開始せられん目下優良昆布相場は二千枚五圓內外なりと(淸津)

各道公醫の增置

現在各道に配置せる朝鮮總督府公醫は其の數百九十名に達せるが今回更に九名を增置することに決したり而して其の配置箇所は全北の長水、黃海道の長淵、平南の孟山、平北の碧城、江原の金化、麟蹄、咸南の豐山、新興、咸北の山等にして之れを以て合計百九十九箇所となり新設箇所は本年四月一日より實施の筈なりしも都合上今日に至り近く其の開設を見る筈なりと

支那苦力陸續輸送

山東方面より仁川に上陸し京元線を經て浦鹽に出稼ぎする支那苦力は其後も陸續として絕えず朝郵浦鹽航路の船腹を以てしては其の全部の收容困難にして最近も百餘人の苦力乘船し切れず十餘日間元山に空しく滯在せしなるが五月末迄此の狀況は續くべく同社浦鹽航路乘客は三等船室は每航滿員ならんと

課金滯納處分斷行

京城商業會議所の大正四年中に於ける賦課金滯納者は五百八十三名の會員有資格者中僅かに十六名に過ぎざる好成績にて未納者の中には住所不明なるか又は明治町の葬儀會社の如く已に營業を休止して其器具を賣却する等に非ざれば納金の資力なき等の者數名あらん此等は勢ひ課金免除の外なかる可きも相當の資產を有し現に盛に營業をなしながら十數回多きは數十回の督促及び懸示を行ふも言を左右に托して納付せざる者あるを以て會議所は法規の定むる所に依り來る八日の役員會に於て平井寬、眞島丑吉、藤原熊太郎、木村稔の四名に對する强制執行決行の件を協議す可しと

仁川商議豫算

仁川商業會議所今年度歲入歲出豫算は豫て其筋に認可申請中の處今般認可されたり

◎金屬品の拂下 李王職に於ては來る十日廿五キロ發電機二基競爭入札に依り賣却する由なるが同時に古燈與其他古金屬約六百貫匁を賣却する趣なれば時節柄希望者多數なるべく附品の下見は九日の由

人事

▲阪谷男爵一行 三日午前入京朝鮮ホテルへ投宿
▲小松原英太郎氏(樞密顧問官) 入京中の處三日朝新義州へ向け出發
▲田所廣海氏(海軍少將) 二日夜入京巴城館へ
▲櫻井鎭海鎭長 入京中の處二日仁川へ
▲土肥金在氏(海軍中佐) 二日夕入京巴城館へ
▲金井清氏(鐵道院參事) 同上
▲伊藤常夫氏(技師) 同上
▲森川庄吉氏(滿鐵技師) 同上
▲水落清五郎氏(海軍大尉) 同上
▲原脩次郎氏(岐阜縣代議士) 同上
▲ステーヤ氏(米國商人) 二日夜入京朝鮮ホテルへ
▲井手繁氏(商人) 同上

南言北語

英國では何時もゴタ〳〵が起る度に內閣の危機を傳へらるゝ▲一體英國では今迄何れ丈けの軍人を出征させて居るのかを調べて見ると▲先づ上下兩院議員の三分の一は已に從軍し▲皇室譜代の貴族二千戶の內一千戶の主人も同じく劍戟を執つて起た▲又た劍橋、牛津兩大學の職員生徒の三分の二も出征して了つたので維持が六かしくなつて國庫の補助を受けることになつた相な▲上流社會に於て既に之れだから一般社會から見ると出征軍人は實に大したものであらう▲所謂上下協力一致の戰爭であろ▲此方の議員さん連は口は大分達者ながら自ら進んで彈丸の洗禮を受けに飛び込む人が果して幾人あらう▲今度博士になつた本多精一君にお祝を云ふと▲何あに老嫁が結婚祝を受ける樣にクスグツたいよ▲と笑つて居るが本多君が長島代議士を千葉に應援に行つた時▲演說のビラに黒々と法學博士本多精一として辻々に廣告して大分受けられた▲衛うして見ると博士會よりは千葉縣民の方が君に對する眼識が高いよ▲とは質つた長島君も餘程口の惡い男だ▲臺灣共進會には大分珍談があつたらしい▲馬越恭平翁と大橋新太郎君が共進會行にツイ同船になつた兩君共大分精力家だが船が出るとスグ將棋盤に對して夜半迄兩君精力の競爭をやつた▲其の結果都合五十何番差し通したが流石の大橋君も到頭根負けがして▲イヤ馬越翁の精力には恐れ入る何れ臺灣入りの後思ひ合はさるゝよとは何の事やら▲最一つ共進會を見物に來た生蕃先生總督府等の建物を見て非常に驚き▲中に穴を掘て住まつてる▲だから日本人は偉いと大に感嘆して居た相な▲彼等から見れば頗る面白い觀察だ

四十五年の十三町步より大正三年ま

春川

△改良種の成績 江原道種苗場に於ける改良粳種『日の出』の奬勵成績を見るに十石の交換配付高を見るに至れるは良好なる成績と謂ふべし

裡里

△遊園地の植樹 全北鐵…

…續地には楓樹吉野櫻等を植付けしも時既に寒冷の候なりしより殘部は其儘となり居…

…郡に涉る展望に加へ近く錦江の流れを瞰下するなど得も言はれざる絕景…

…箇所にても同樣手段にて詐欺を働きたる爲め京城地方法院にて懲役八箇…

…行を續けしに二十八日夜半に至り二等運轉士室より火を發したれば百名…への大混雜を…

…猿猴町生れ當時京城櫻井町一丁目…尻方中島事島岡知…は四月二十…一日午後九時…

…十九日午前十一時半頃京城郵便局…致され取調の結果同人は本年一月二…構內に於て黃金町三丁目中野某の所…

…を受取り同四月二十五日午後四時頃…にも京城郵便局構內にて…田某の自轉車一臺(十八圓)を窃取し…

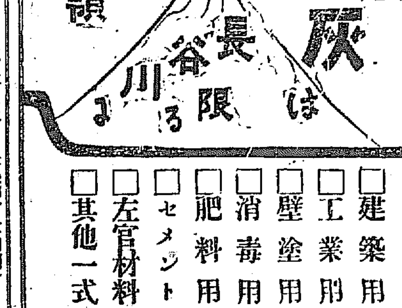
靑竹直輸入大販賣
左官材料 材木問屋
〈志 釜山材木町一丁目 島末商店 電話四五四番

五月號 人文
▲文明の熱病 姉崎正治
▲宋朝に於ける山水畫論 瀧精一
▲ラムプレヒト 戰爭と文化 大津康
◎明治文學史の樗牛 淑圃生
●神明綺話(臨風)
●樗牛が墓に(嘲風)
◎樗牛傳 共五 齋藤新平
◎樗牛と女性 太田資順
一部十四錢郵稅一錢半ヶ年郵稅共八十錢一ヶ年郵稅共金一圓五十錢
東京小石川白山御殿町一二七 發行 樗牛會事務所 振替口座八二一〇番
芝區田村町七番地 發賣元 長久社 振替口座二七六八番

株式會社 朝鮮商業銀行
資本金五拾七萬五千圓(全部拂込濟)
諸積立金二十四萬百圓
京城南大門通一丁目 電話五五八番 振替京城一六八三四一番
一般銀行業 倉庫業
銀行長 趙鎭泰
支配人 豊田明敬
南大門支店 本町支店 仁川支店 平澤支店

日韓書房 新版報告
佐野博士著 銀行論 定價一圓八十錢 送料十八錢
川口西三著 銀行簿記精義 定價二圓 送料十八錢
社會政策學會 社會政策上より見たる稅制問題 定價一圓三十錢 送料十二錢
香山哲人著 人心操縱法 定價五十錢 送料六錢
群山經堂著 歐洲政界奇談 定價一圓 送料十二錢
京城本町二丁目 朝鮮 振替 電話

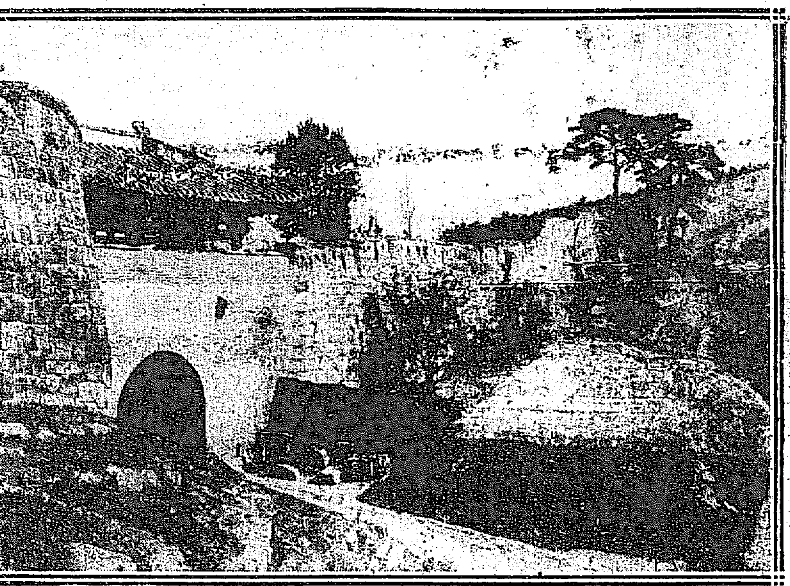
婦人科 產科 入院分娩應需
京城旭町壹丁目 院主 衣笠茂
中央婦人病院 (電話二二三〇番)



銀牌受領
□建築用 □工業用 □壁塗用 □消毒用 □肥料用 □セメント □左官材料 □其他一式
製造工場京城麻浦
長谷川商店 電話三八三番

內科 小兒科
京城本町二丁目(瓦斯會社向側)
芙蓉醫院
醫學士 森定吉 電話二六三番

…で既に一千八百町歩に上り同四年度には四千二百町歩を増し都合六千町歩に達す而して本年度に於ては三…
…典記念事業として遊園地の設備を施すこととなり北岡農場の所有に係る接…
數年後には湖南線中の一名所となるべく山頂の眺望は頗に雄大にして數…



城壁の春（京城北門）

◉這回の戰爭に學べ!!

最後の勝利は聯合軍

笠置艦長　櫻井大佐談

歐洲戰亂の前途も益々逆睹し難い形勢となつて來た、獨逸が盛んにヴェルダン要塞に突撃するけれどもこれも却々容易な仕事ではないらしい、要するに戰局が長延けば長延くほど聯合軍側の强味で

□□反對に獨逸は困る訳である私は昨年の八月英國から歸朝して戰前の獨逸も少しばかりは視察して來たが何うしても最後の勝利は聯合軍側にあると思ふ、這回の戰亂で誰れもが最も驚いたのは英國の富の偉大なる事と獨逸の戰爭に對する準備とであつた、前者は豫て世界の富を集めた富國であるとは思はれて居たけれども這回の如く

□□友邦諸國佛露伊へまでも財力の後援を否まずして獨逸に當る程餘裕あるものとは誰れしも想像しなかつたであらう、一方また戰爭に對する獨逸の準備が平素奈何に用意周到であつたかはこれも亦實に驚嘆するの外はない、獨逸は開戰の當初其の完備せる軍備を以て一氣に佛白方面に肉薄したのは

□□疾風迅雷的だつたが昨今のやうに聯合軍側の戰備が着々増大して行くと最早や奈何とも手の下しやうもあるまひと信ずる、初めキッチナー將軍は演說して曰く『吾人が獨逸を再び起つ能はざる迄に膺懲するには一年以上の忍耐を要する』と、なるほど聯合軍側の計畫は持久戰により最後の勝利を占めようと云ふにある、それで始めて戰備の完成する迄には佛蘭西

□□國境の要塞から首府巴里を捨ても構はない程の決心であつた程の聯合軍側の計畫をも識らずに世人の多くは我が同盟國の陸軍を侮蔑するが如き言辭を弄して居るがこれは甚だ皮相の觀であると思ふ、現に自分の知人のわが觀戰武官も英國軍の健闘振りには少なからず感心して居つた、初め佛白方面で退却した時の如きも

□□英國のやうな獨逸軍の猛進に對して實に堂々たる退却を試みて居る而も戰死者の多くが立派な將校であるに至つては英國民の義務を重んずる氣風に感ぜざるを得ない、また英國の海軍は確かに强いのみならず開戰以來其の海軍力が増大した事は夥しいもので現に開戰以來十五吋の砲を有つた戰艦が十數隻も新造されて居る、目下英國では僅々九箇月間に一隻の戰艦を建造しつゝあるので此の

□□分で往けば獨の海軍もキール軍港から出る事はむづかしからうまた出ない方が得策である、自分は不祥の言を弄する者では無いが日本でも油斷して物質上にも精神上にも歐洲列强に劣る樣な事になつては一大事であると思ふ、親しく强大なる英國の海軍を視た時に自分は若し日本の海軍に彼に及ばざるところがあらば是を先祖傳來の大和魂と武士道とで補はうと思つ

□□たが翻つて思ふに英國も依然獨佛其々の特長を持つて居るのだから決して今日安逸を貪ることを許さない、日本國民が他國の人のお世辭に自惚れて大和魂を唯だ表看板のみにして置く事があつたならば實に寒心すべき事になりはしないか、日本國民は決して〱油斷してはならぬ、列强の武力もなか〱强い、吾人は一刻も寸時も自惚れてはならぬ、慢心してはならぬ。

◉懷仁縣知事の官金拐帶

掠奪して遁走

數日前王懷仁縣知事官金三十萬圓を拐帶し武裝せる巡警局長以下百餘名と各所を掠奪して逃走せりとの報に接し鳳凰城、乗馬隊二十餘名一日急行せり馬鎭守使は善後策に就て協議中なり（安東縣特電）

◉百圓印紙を横領した高利貸

其筋に召喚取調べらる

廣島縣山形郡戸河内村當時京城黃金町四丁目居住金貸業上村又吉事河本要（三八）は趙斗夏なる者が昨年八月中江原道洪川郡斗村面に銀鉛鑛を發見し其採掘願書を農商工部に提出し其許可を得たる際は登錄税に要する金百圓の所持なき爲め梅田某を介し河本より翌九日發見せる鑛山を擔保として金二百五十圓借受くることゝなり翌九日百圓の收入印紙を買ふ爲め共に黃金町郵便所に至り兩名點檢して百圓を納入したる筈なりしに實際に於て五圓不足しゐたりし爲め却下となりたるより更に五圓を附して納入したるも時日經過の爲め遂に効力なく右の百圓印紙は河本の手に歸りたるを趙斗夏に交付せずして横領し二百五十圓の貸金は四月二十五日限り支拂ふべし期限經過後は相當の手續きをなす旨通告したる爲め本町署に召喚取調中なりと

◉溜池から美人の溺死體

京畿道抱川郡々内面上城北里の東方の水田中の溜池に若き鮮女の溺死體あるを發見したるものあり急報に接し抱川憲兵分隊より係員出張檢視したるに溜池の岸に靴を脫ぎ棄てあり死後多少時日を經過し居る模樣にて月經期中死亡したる形跡あり取調への結果同女は抱川郡内村面芝峴里李王禮（二〇）なること判明したり同女は四月十四日頃無斷家出し爾來行衞不明となりゐたりしものにて同女は昨年十二月中同里趙璟璣の妻崔氏（一八）の髮の添毛を竊取したること發覺し爲めに良心の苛責に絶えず家出をなし覺悟の投身自殺を遂げしものならんと屍體は夫趙弘俊に引渡せり

◉巡防兵十數名强盜を働く

邦人重傷を負ふ

黃縣城內南關李家巷支那醫王沈東方同居長野縣南安曇郡梓村丸山玄一（四一）は十數日前寢室に睡眠中午前三時過ぎ隣家の墻を乗越え侵入し來れる巡防兵十數名の爲めに逢ひ

▲所持金全部を　奪はれたる上亂打せられ其場に打倒れたる儘人事不省に陷り一時生命も覺束なかりしが數日前漸く人心地着きたるも身體各部の疼痛激烈にして四肢亦機能を失ひ尙ほ垂死の狀態に在る由此程芝罘領事館の知る所となり事情取調べの爲め館員一名黃縣に向ひ陸路急行せり巡防隊は戸主王にも何か罪名を附し罰金として

▲五百元を奪ひ　更に黃縣立退を命じ尙ほ亦被害者丸山にも手を換へ品を換へて種々の迫害を加へつゝあるが如く丸山は賣藥商として黃縣に入り込みたる者なるが多少醫術を心得居る爲め前記支那醫の業務を補佐すること既に十餘年の久しきに及び從つて家人の尊重及び土地の信用を受け居る程にて其奪はれたる金は永年貯蓄せるものなりと（大連）

◉船底に取附きて漂流

山口縣熊毛郡伊保庄村生れ當時釜山牧島居住漁業者宗里孫藏は同縣同郡佐賀村友田勝藏（一七）外鮮人一名と一隻の漁船に乗り組み加德島沖合に出漁中去る二十九日夜半頃風波の爲め轉覆し孫藏及び勝藏の兩名は船底に取付き漂流中なりしを翌三十日朝同方面へ出漁中なりし漁船に救助され同島憲兵分遣所へ引渡されたり發見されたる時は鮮人一名は行衞不明となり居り兩人は船底に取附きたる儘なりしが孫藏のみは蘇生せしも勝藏は既に死亡し居りたる由にて孫藏は勝藏の屍體を携へ同日第二運勢丸にて歸釜したりと

◉乗馬倶樂部試乗會

京城乗馬倶樂部にては京城黃金町訓練院附近に於ける野村氏經營の馬術練習所開業式を卜し六日午後一時半より春期試乗大會を擧行するに決し各方面に其れ〱招待狀を發せり當日の次第左の如し

▲第一　調馬索運動　北村君、津田君、野々村君、倉橋君、橋本君、飯泉君、林君、中村君、與君、田中君、野村君

▲第二　常歩、馬上體操、速歩各個運動　第一列　中野君、尾崎君、注連内君、澤田君、池田君、杉山君、坂本君、田尻君、飯泉君、山田君、第二列　倉橋君、佐瀬君、伊藤君、橋本君、今村君、中村君、安君、金君、松原君、植松君、牧野君

▲第三　輕乗　牧野助教

▲第四　速歩、馬上體操、駈歩各個運動　第一列　田中君、玄川君、佐瀬君、伊藤君、注連内君、末岡君、松田君、石井君、二宮君、第二列　林君、關谷君、尾崎君、植松君、田村君、澤崎君、永野君、倉橋君、森脇君

▲第五　來賓騎乗

▲第六　蹄跡運動、四騎運動　小松君、二宮君、藤川君、淺田君、岡田君、中野君、山田君、森脇君、堺谷君、植松君、田中君、飯泉君

▲第七　馬上劍術

▲第八　騎兵高等馬術

▲第九　各種運動　野村師範

◉何處へ往く

青年會主催の活動寫眞

京城基督教青年會の主催にて活動寫眞『何處へ往く』は愈三日の午後七時から六日迄四日間南部座で開演することゝなれり、此活動寫眞は前年同會の催しでやつたが今度のは映畫の鮮明なるとフィルムの長いことは餘程優つて居ると云ふ筋は何人も知る如く波蘭の大文豪シェンキーウィッチ氏の傑作小說を脚色したるもので

▲世界の三大著の一　である往年倫敦で此寫眞の興行された時は英國皇帝皇后兩陛下の御覽を辱ふし御讚辭を賜りたる程の名畫である此活寫の撮影に就ては興行所有者たる伊太利シネス會社が約二十五萬圓の巨費を投じ三千人の俳優と三十頭のライオンとを使用する外に建物服裝等も全部

▲羅馬古代の風を摸し　たるものにて開場當時に於ける基督教徒の迫害を受くる慘劇等に至りては實に遺憾なく實況を偲ばせる辯士には伊太利活動寫眞會社の主席辯士德波無鳴氏を聘することゝなつて居る觀覽料は大人特等一圓、一等七十錢、二等五十錢、三等十五錢、小兒は一等三十五錢、二等二十五錢、三等十五錢で既に盛んに賣つて居るが會場でも賣る筈になつて居る

□輕い味ひ

昨今獲れる魚類　安くなつた相場

▽目に青葉　山時鳥初鰹——花も既に盛の時を越して若葉の綠が日一日と濃く彩られてゆく是からは重い味の鳥獸肉より輕い味の魚肉の類が歡ばれてくる市中の魚市場を一二覗いて見ると初夏の朝らしい快い空氣の中に生きのいゝ魚が赤銅銀色の鱗を閃めかして

▽躍つてる　のが目立つ、魚の最も多くなるのは今頃から六七八月にかけてであるが、此の一兩日群山、木浦邊りから盛んに出廻つて來たために殊に多くなつて來た模樣である、相場も勿論大分安くなつて來た。昨今特に

▽多く漁る　のは平目、鰈、鯖、黒鯛、鯛の類で小魚としてはモエビ、小鯛、白魚、甲烏賊、クヅナ、モツ等がある、一體に昨今は背の青いものが多い冬の間釜山、統營方面に限られてゐたものが群山、木浦を始め仁川からもボツ〱出て來る

▽元山から　も少量ながら著荷があるので、從來より一廚新らしい魚が市民の食膳に供へられることになる、昨今の相場と言つても毎日尠からぬ變動があるので一概には記し難いけれども二日の朝の相場を見ると平目、鰈が五錢、鯖が十六錢、黒鯛が十四錢

▽鯖が八錢　鯛が二十六錢、小魚では鰺が二十錢に白魚が六錢、何れも百目の値段であつた、又川魚は市場には見えないけれどもその附近の店に幾らも出てゐる、未だ餘り味のいゝ時ではないけれども香ばしい木の芽の多い此頃

▽田樂抔も　惡くはない、値段は鯉の大が十五錢、小十錢、鮒が十錢、鯰が八錢、鰻が大が三十錢小が二十錢位で鯉は東大門外の養鯉場から鮒、鰻は仁川、水原、漢江の沿岸から大分獲れるさうだ

◉名譽の消防組

三月一日夜京城若草町の大火に際し京城常備消防手中危險を冒して盡力したる岩崎啓六外五消防手は此程古海警務總長より賞金を授與されたり又京城消防組は隈部警務部長より賞狀を授與されたり

◉宮舘署長の訓示

京城本町警察署にては二日午後二時より管內住の宿屋業者全部を召集し宮舘署長より新規則に就て訓示するところありたり

◉銀行團の運動會

京城銀行團にては來七日午前九時より午後二時迄景福宮神武門外廣場に於て春季大運動會を開催すべしと

◉雪耕畫伯入京

京都圓山派の泰斗たる小山雪耕畫伯は日本千名所畫集出版の爲め半島の絶勝を探勝の途次入京、目下南山町森氏邸に宿泊中なるが氏は畫會の弊風あるを思ひて作品展覽の公開はなさゞるも餘暇を以て山水花鳥動物の揮毫に應ずる由なり

□市民の大敵

［蠅は各自に驅逐せよ］［各自に勵行が肝要］

昆蟲學者のスーツード氏はこんな事をいつて居る。蠅の樣な恐ろしい害蟲に家蠅などゝ云ふ名稱を附するは適當しない宜しく窒扶斯蠅とか傳染蠅とか云ふ人の怖れ忌む名を附けて憎惡心を挑發し撲滅を期せなければならぬと、洵に最な次第である、然らば如何にして蠅を退治するか、之れが最も重要な點である。先づ

◇家庭の蠅退治法

として簡單な方法を擧げるならば春先の今頃飛出して來る蠅を見付次第殺すことが第一である。若し其の殺した蠅が雌であるならば唯の一匹でも其子、孫、曾孫の蠅を數へると數千萬匹を殺した事になる。蠅は人糞が大好物であるから便所に入らぬ樣常に注意して便所の汲口の蓋を閉づることを注意せねばならぬ。そして便所には常にクレシン、アイゼル等の防臭又は殺蟲液を撒布して置かねばならぬ。

◇掃除の行屆かぬ

不潔な處、いふまでもなく塵芥などを掃溜めて置く處は直ちに蠅の養成所となるから、塵芥は必ず塵箱に入れ蓋を閉ぢ、箱の中には時々生石灰水を撒布するなどして蛆の發生する場所を少なくすることは第二である又家庭によつては魚鳥類を料理して腸や切屑類を下水等に棄つることがあるけれども是等は嚴重に取締つて塵芥箱に入れる樣に各自に勵行することが肝要である。殊にこれから最も注意を要するものは

◇飲食物に必ず蓋

をすることである。又小兒のある家庭では特に注意して牛乳瓶だの食器だのを清潔にせねばならぬ。毎年春から夏にかけて小兒が下痢症に罹つたり吐氣を催すことがあるがあれは蠅の蛆が腹に入ることに原因して居る、若し不幸にして傳染病にでもなれば其部屋の四方を蚊帳で圍つて蠅の出入を嚴禁じ病菌の傳播を防ぐことは勿論であるが更に附近に傳染病患者の發生した場合にあつても同樣の注意を要することを忘れてはならぬ。昨年京城府で

◇實行した蠅退治

方法としては八尺四方高さ六尺位の木小屋を造り其內側に鐵板を張り四方には窓を設けて蠅の出入を容易ならしめさうして內部には藥を何十條となく吊下げる。蠅は夕刻より盛んに飛込んで藥に止る。それを翌朝未明靜かに窓を明け石油を注ぎ火を點して燒殺すのであるが、一回に少なきも五升

◇多き場合は一斗

の蠅を殺すことは珍らしくない。又蛆や蛹の內に退治する方法は石油乳劑を散布して殺し汚物運搬車或は各戸に備付けた芥箱の下などには時々クレシンなどを撒布するが其結果は頗る有效であつた。更に汚物運搬者夫に石油鑵を持せて道路に散亂した不潔物全部を收集させた所が一日に三石位も集まつたと云ふことである（をはり）

…月十三日…より衣類を騙取したるを手初めに外二…
…江するに…能はず滿潮を待つて離洲し航…

◉居候の搔つ拂ひ

廣島市…本芳夫と僞名して南大門通の質屋に…五圓にて入質したる…本町署に引…詐稱して家主をして龍山漢江通黒川質屋に金二十七圓に入質せしめ代金…し居れる所を巡査に取押へられたり

朝鮮總督府
一塊炭八拾萬斤
右購買ス詳細ハ五月三日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

廣告
平壤駐在　伊藤喜十郎
右解職す自今本社に關係無之此段廣告候也
五月二日
第一生命保險相互會社

臨時入札會
見眞大師蓮如上人名號（鑑定書付）、道榮書、昭澤先生書、常信家三幅對（大倉好齋極め付）、熊飛花鳥、文晁若邑山水、宋紫石花鳥、春木書、寺岳人物、山陽書細字三行、刀劍備前景光、忠吉大小作付揃、藤原國吉、國正立大小揃、清光、吉道、吉定、忠廣、長光、青江下坂、國次、文那骨董及推東文庫其他數十點某家より依托相成り候三日より四日午後七時迄下見七時より全部成行にて入札競賣仕候間御高覽被下度候
尚定期入札は六日下見七日開札致候
南山町三丁目　佐々木聚古堂　電話二三三番

動物の友　シユーフライ　バゴリユーム　退治
牛馬其他動物の蠅蚊害虫驅除撲滅外襲を防ぐ
室內の南京虫及び蚤
人體に無害寢所に撒布すれば蚊の襲來を防ぐ
米國シユーフライ會社朝鮮支那特約代理店　牧野商店
大阪西區南堀江通五　朝鮮特約代理店　京城南大門通五　牧野商店

京日案內
普通（一回前金三十錢無割引　匿名一回毎に金五錢増）
番外（一回前金六十錢無割引　匿名一回毎に金五錢増）

京城　◉文明の世に▲大正琴　◉お孃樣には▲ヨウ琴　勢山樂器店　156

◉◉店員入用◉商賣に經驗あるもの十五歲以上廿五歲迄◉要保證人　若草町二電話一五九〇　小野タオル部　131

募集◉賣藥行商藥湖行希望者ハ戸籍本身元證明書携帶上本人來談あれ　南大門通五丁目　岐阜屋方阿波井　152

◉講談雜誌類は特に高價に　古本◉雜誌◉誠實買受　京城本町二電二五二七　ウツボヤ書店　158

外交員書籍特約募集に經驗有る者歩合多大希望者は履歷書携帶來談　櫻井町一丁目七三　國民教育會支部　164

大坪鎭安は社員にあらず・蘇浩は社員にあらず　京城　帝國公債信託株式會社支部　163

女中に雇れたし　年齡二十歲官舍又は社宅に見習として雇れたし希望の方は太平町二丁目七九小川方へ
小供入用　年齡十四五歲にして健なる者入用希望者は至急直接來談　本町二丁目　チチブ屋呉服店　146

◉店員入用　廿一歲以上商人たる經驗と自信力あるもの　要保證人◉本町二　ウツボヤ書籍店　141

◉外交員書籍豫約募集に經驗有る者に歩合手當を給す希望者履歷書携帶來談を要す　京城鐘路昌洞一九六　新文社
但馬特産柳行李並に古本賣買所　右今般新規開店特別大勉强　京城本町三丁目　但馬屋號　北村商店　115

雜誌廻讀會◉五月號著◉特典あり◉御報參上　京城本町一（電一三七八）松井松榮堂　112

看護婦至急募集　京城櫻井町二の一　電一八九二　朝鮮看護婦會　127

番外
高級外交社員　として交際廣き紳士を招聘す希望者履歷書送附あれ面會日追て通知す　京城本町四丁目　蓬萊生命保險相互會社出張所

きものかします　おやすくべんりにはからひます　本町四丁目電車終點　電話二千八百六番　べにや　120

自園培養　健全種苗拾賣　各種果樹花卉　上等百合其他梨桃柿根苗蔬菜花卉種子販賣格據價（定價表進呈）　京畿道水原城市場　石丹田農園　153

東京　常盤タワシ類　製造販賣　京城南大門通三丁目電話二三九八番　栗島辰次郎　162

各眼科病院用達　眼鏡專門　宮川大學堂　京城黃金町　振替京城二二九　160

開業　片山質舖　完全なる倉庫あり何品にても懇切迅速に取扱申候　明治町二丁目五九（交番所東小路）　155

東京中川式　懷中電燈　魔法マッチ　小賣卸　電池の强力他製品と比較を乞ふ　黃金町電二九一八　口座京城壹弐九　川合時計店

轉勤に付住宅急賣したし　京城市內（地所附）、官吏向、價金四五百圓　本町三丁目十三　山本

藥劑師　試驗制度發布せられた臨時入學を許可す　受驗準備者は此期を逸せず直に入學あれ　各級補缺者あり　長橋通　朝鮮藥學講習所　143

自今三週間當院發毎日下仁同期間の申込に限り本院規定の往診規則に據らず之に應じ候　京城北米倉町　京城婦人病院事務所　電（四八二）（二四八二）（二三四二）　147

◉はねつき（うちみ）等　一切の治療御依賴に應ず　明治町　柔術道場　150

鑛物分析　迅速正確　太平町二の二三〇　朝陽分析所　151

りん病三日藥　根治三日全治　家庭で服んで即日効驗ある不思議の妙藥　京城明治町二丁目四二　明治旅館　朝鮮發賣元（電二三五）　297

重石水鉛買入　京城瑞麟洞　光化門郵便局（横川端）電話八六番　大菱商行　103

上山　◉電話開通一四六二番（電路カミ）◉ロクロ細工專業◉建築くり物◉諸車ロクロ製造　京城永樂町二丁目　赤門通　ロクロヤ　109

礦物定量分析　京城太平通二ノ二二五　坂元分析所　電話一三四四番　165

玄米乳　▲滋養▲强壯　◉京城化學研究所◉發明專賣店　玄米乳製造販賣　京城北米倉町　電話一五四七　◉市內に僞物あり御注意を乞ふ　113

諸鑛石分析及測量　京城府鍾路二丁目八十八番地　金鍾商鑛業所　133

中學講義錄　◉會員大募集◉新學期開講◉入會者最好期　申込次第見本附規則進呈　京城觀水洞　大日本國民中學會支局　134

千生瓢 (201)

須藤南翠作　筒井年峰畫

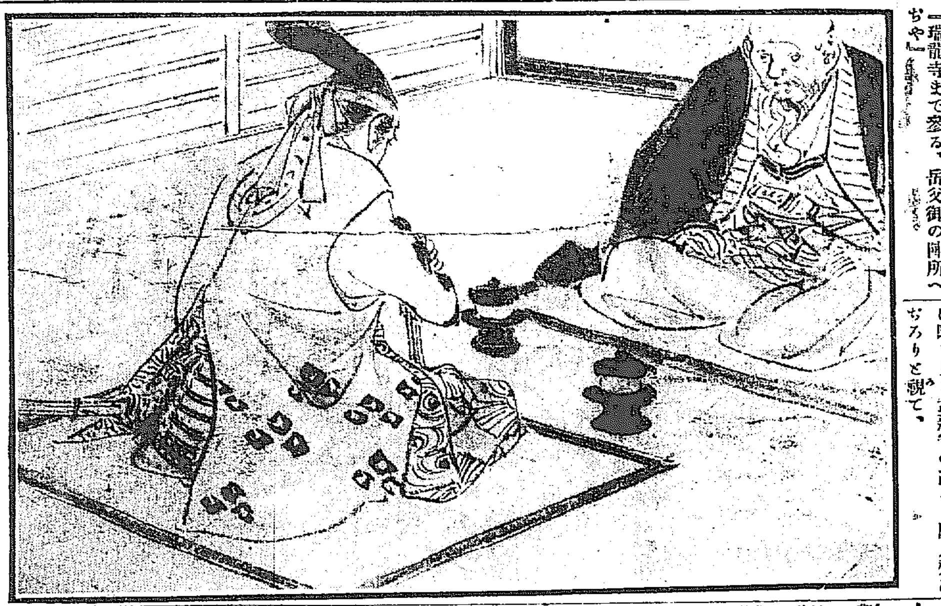
長湫（二）

雪辱の一念禁じ難く、肝膽を碎いて快戰の策を運らした森武藏守は、東雲の天をうち仰ぎて、急ぎ馬に秣を飼はせた。

小具足に陣羽織を被つたまゝ、武藏守は假建の玄關に立ち出づる。馬廻の近習小姓等ばら〳〵と走り出て

『此の早朝に何處へ成らせます』

『瑞龍寺まで參る。岳父御の陣所へぢや』



『武藏守は斯う言つたまゝで、牽き出した乘馬にひらりと跨つた。

『待たせられませ、御供揃ひ申し達しまする』

『其には及ばぬ。誰ぞ兩三名續いて參れ』と手綱を捌きながら、もう馬首を立て直した。

近習が急いで乘馬にうち跨がるうちに、武藏守ははや鞭を揚げて驅け出だす。續いて近習の追ひ驅くる間もなく直に池田の陣所へ馳せ着けた。

『お早御入來何ぞ火急の御用ばし』

陣門の番の侍大將が、慇懃に來意を尋ねると、武藏守は忙しくうち點頭いて、

『左樣ぢや、最も火急の用事ぢや。岳父殿に傳へておくりやれ、長可密々御意得たい。直に御目覺めなさせられい、と、な』と、疾語に申し入た。

『仰せ慥かに申し上げまする』先づ〳〵入らせられませ』

守を奥へ導びかせた。

座に通る間もなく、信輝入道勝入番の大將は雜士に東道させて、武藏齋は、法眼袴を踏みしだきて、つかつかと立ち現はれた。餘りの迅速さに駭き見る武藏守の顏を、勝入齋はぢろりと視て、

『小牧山の旗の紋に心著いてかの、さもあらうと存じ居つたよ』と、頓に會心の笑を浮べた。

武藏守は惘れたやうに岳父をうち目戍つて、

『何と言はせらるゝ、小牧山の本陣の旗の紋とは、日毎に加はる人數の儀でおざるぢやの』

『さればぢや。昨日の日暮に馳と見定めて置いたに依つて、昨夜一晩熟りと考へたぢや。定めて其許も分別の致いたであらう、の』

『ふむ、似た事もおざるものぢや。我等も一夜灯火を相手にして、篤と肝膽を碎いておざる。兎角に岳父御の思慮に縋つて、長可が死に場所を教へて貰はうと存じ申して──』

『其で早天わせられたぢやの。よいわ。其の死に場所な、入道仔細に熟慮致いた』

『そりや長可が爲めに、舅の恥辱を雪がせやうとか』

『舅が恥辱は娘が恥辱、娘が恥辱は入道が恥辱ぢや。何の如才があらうぞい』

『忝なうおざる』

武藏守は千軍萬馬を睥睨する双眼に、豆の如き涙を泛べて、勝入齋が前に叩頭した。

『燒き働きの御手柄が羨ましく、何がな戰功を抽でゝ、筑前殿の感賞に與らうと、遠藤但馬と申し合せ、態と岳父御の御旨も伺はずに、進んで羽黑に陣を張り、酒井左衛門めに裏をかゝれて、生涯に覺えのない、見苦しい敗戰致いたを、不埒者とも御咎めなく、長可が恥辱を雪がし遣らうと、御思慮を運らし下さるゝ段、生前の面目、死後の本懷、長可御禮の辭を存じ申さぬ』

龍手を押つて涙を拂ひながら、武藏守は、意中の歡喜を陳べるのであつた。

勝入齋は深く望みを懸けた事あるやうに、至極穩かな笑みを湛えて、

『戰場の進退は、服で押したやうには參らぬものぢや。必定敗ると覺期して、思はぬ勝利を得る事あり、十分必勝を期しながら、案の外なる敗戰する事もある。總じて戰ひは、氣と運ぢやよ。何、敗戰を恥づる事があらうぞ。漢の高祖が好い龜鑑ぢや』と、事もなげに言ひ慰めた。

書畫用 絖 絹
京染吳服商 たまや出張店 京城永樂町二 電話一一九六番

皮徽科
入院隨意（診察夜九時迄）
皮膚病 徽毒病 痳病 膀胱病 生殖器病 機能障礙
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目（元町一丁目）佐藤醫院（電話一七一三番）

新刊紹介

▲佛書研究（一九）五錢東京市小石川區林町二〇其會

▲人文（一の五）十四錢東京市小石川區白山御殿町一一七櫻井會

▲國民飛行（一の五）十八錢東京市麴町區四の二其會

▲一大帝國（一の五）十八錢東京市芝區琴平町二其社

▲財政經濟時報（三の五）戰後經濟、同盟製鐵事業、理化學研究所歐洲交戰國の經濟財政事情其他最近の情勢を研究せんとせるものにして本多、河津兩法學博士、今泉、高井兩工學博士其の他知名の士の執筆に成る（二十七錢東京市赤阪區青山南町五の三三其社）

▲日本印刷界（七八）商戰場裡に立つ者は如何にして自己の商店を紹介し如何にして己れの商品を廣告せんかに腐心し之に成功する者は勝ち否らざる者は敗る本誌は圖案、製版、印刷、廣告、裝飾等凡ゆる商戰に必要なる廣告術を研究せるもの挿繪圖案の如きは實に斬新卓越せるものなり（二十七錢大阪市東區南本町二の三八其社）

▲講談落語界（五の五）御馴染の掘遊孥總小さん貞山小柳枝伯龍馬琴烟霞順花樓主人鈴俠咨僊路昂武陽男等の外クレオパトラうき世あり（廿二錢東京市神田區淡路町一の一其社）

商況

大阪三品

九月限 一三一、五〇 一三一、九〇
十月限 一三三、〇〇 一三三、四〇

大阪株式特電

鐘淵紡績 一六三、五〇
同上新株 一三八、五〇
東神綿絲 一〇五、九〇
大阪ヶ綿 一二九、〇〇

△中限寄付十四圓六十二錢止め六十錢 △先限寄付十五圓〆七錢止め〆九錢

下關期米特電

仁川米豆取引所

△二日後場 △大阪前止十四圓八十錢後寄十五圓七錢の入電に前十四錢三〇錢と高下移[illegible]十一圓七十五錢と新高値に寄付たるも[illegible]其他より賣物頻はれ[illegible]他より買向ひたるも三錢と押し大阪跡高なりに更に七錢と上伸し高値の儘強硬の致命市況は大阪の大變動に[illegible]落付模

▲現物界 [illegible]十錢落節にて人氣は安かりしも在外荷主の賣り腰強く襲らざる相場にて円米居れり △正米 [illegible]

後場（寄付）一日の七月限 十一圓七十七錢[illegible]

五月限 三千四百石
六月限 三萬六千八百五十石
七月限 一萬五百五十石

洋傘 雨傘 ゴム引マント 防水布外套
東京製鞄 旅行用具一切
京城本町二丁目 高木商店 電話一三四番

滿蒙處分論 定價金一圓
露國大本營クロパトキン將軍原著
京城日韓代理部 振替貯金京城三〇〇番

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行
相模丸 五月五日 正午出帆
高砂丸 五月十一日 正午出帆
三河丸 五月廿三日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
○群山木浦釜山下關神戸大阪行
大正丸 五月 日後四時出帆
大有丸 五月十二日後五時出帆
神代丸 五月 日後五時出帆
秀吉丸 五月九日後五時出帆
君が代丸 五月 日後五時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 玄神丸 月 日後五時出帆
○元山淸津浦鹽行 立神丸 月 日後十時出帆

大阪商船仁川出帆
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 月 日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 五月 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 第三撃平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三撃平丸 五月 日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天兵丸 毎月二日九日十六日廿三日 午後十時出帆
仁川築港棧橋前 大池回漕部
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行（外航船の時は五割引を以て連絡切符發賣仕候）
安東丸 五月九日 午後五時出帆
×油頭丸 五月七日
×天智丸 五月三日
○木浦、釜山、嚴原郷の浦長崎行 信濃川丸 五月十一日 後二時出
×信濃川丸 五月廿九日 後二時出
○鎭南浦大連行 信濃川丸 五月廿四日 後二時出
×信濃川丸 五月六日
○大連直行 福州丸 五月廿六日 正午出帆
×潮州丸 五月十二日
△木浦釜山關門神戸大阪行 須磨丸 五月三日午後二時出
○群山、釜山、橫濱行 潮州丸 五月十六日 午後二時出帆
△福州丸 五月三日
○△大連行（元山出帆）印ハ城津西湖津ニ寄港浦湖不寄港
宮島丸 五月一日 午後二時出帆
平安丸 五月 日
○上海、基隆、打狗行（大連出帆） 湖北丸 五月五日 後四時出
基隆丸 五月十五日 前十時出
御注意 ○貨物の引受は本船出帆前約一時間前にて締切 ○迎船は可成便宜取扱仕候 ○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り
切符發賣所 京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二〇番 內國通運會社支店 電話七〇八番
▲中國四國沿岸各港行船客に對し當分門司迄一割門司より五割引を以て連絡乘船切符發賣仕候

朝鮮郵船仁川出帆
全羅丸 五月二日
京畿丸 五月十二日
黃海丸 五月十六日
成鏡丸 五月六日
仁川より釜山各港寄港釜山間のこと 釜山發
本社 電話長一九五二番二三三番 京城南大門驛前 京城支店 松原運送店（電話長二一七〇）
穩城丸 五月三日
昌平丸 五月十一日
鏡城丸 五月七日 元山發（元山より各港經由雄基行）
忠清丸 五月十六日
平壤丸 五月八日 元山發（城津清津浦鹽行復航は浦鹽より門司又は長崎行）
永興丸 毎月廿八回 元山發
德丸 五月二日 釜山發
江陵丸 毎 日
襄陽丸 （釜山浦項）發
三浦丸 五月 五日 釜山發
海州丸 巨濟丸 毎 日 釜山發
統營丸 慶寶丸
順天丸 三日目毎 木浦發
慶興丸 五月四日 木浦發
公州丸 五月四日 木浦發
公州丸 五月八日 木浦發
宗信丸 五月六日 仁川發
江原丸 月 日 仁川發

阿波共同汽船仁川出帆
第一共同丸 五月 日 前九時出港（大連行）
第一阪鶴丸 月 日 後九時出港（城津、淸津、浦鹽行（元山出帆））
第三西湖津沿岸各港を經て雄基行 月 日前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目電話一〇八番
仁川代理店 山下回漕部 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

りん病 ばい毒 専門藥房

本舗 大阪 花柳病專門藥房 合資會社ドラッグ商會
京城南大門外停車場通
ドラッグ商會 滿鮮本部
電話長一二五六七番 振替京城四六七番
支店 元山仲町、釜山南濱、黃金町三、龍山漢江通小學校前

麻病梅毒痔疾及衰弱性諸症患者諸君 是非御一讀を乞ふ

新劑の發見と藥味の改善は吾社の生命

內務省衛生試驗所長 藥學博士 平山松次先生
帝國醫科大學病院長 醫學博士 伊藤隼三先生
大阪醫科大學長 醫學博士 佐多愛彦先生
赤十字社病院長 醫學博士 永野純三先生
同內科醫長 醫學博士 前田松苗先生
緒方病院長 醫學博士 緒方正清先生

等を始め東西各醫藥學大家の分拆御報告及御賞讚を得たる（獨乙製舶來ヘモクロビンに勝る事數等なりとして世界の學者の驚嘆に値する）

血液元素 滋養素 オーソール を始めとし

りん病ばい毒痔疾の各種 婦人病藥

は凡て吾が商會が多年研究に研究を重ね學理に諮ひ實見に徵し幾多貴重の犧牲を拂ひ漸くにして成功せるもののみなり而かも尙日に月に刻一刻駿々乎として止まざる學理の進歩に鑑み吾社試驗部に於ては常に世界最新の學說を漁り絕えず新劑の發見に努めつゝあり

▲僞ドラッグあり注意

近頃弊社の東京及全國各地に僞ドラッグを開店し有り觸れたる賣藥隆盛を羨み僞ドラッグを調製して其筋の許可を得、藥名定價容器店構へ等外見恰も弊社支部の如く裝ひ以て世人を瞞著し免許藥味と販賣品とは別物にて僅に十錢の原價を投じて二圓乃至一圓二十錢の定價を貪り罰せられたる者も有り此外京城、仁川、平壤、大連、奉天等に於て紛はしき商號を用ふる者續出せり眞正なる弊社製品には一本舗大阪合資會社ドラッグ商會有田製と明記しあり此記名無き物は凡て僞物若くは模造品なり、弊社は藥効上の責任を重ずる爲他店に取次販賣を許さず直接御注文を乞ふ

無效返金 百圓進呈

りん病 請合藥（壹週間分） 特製參圓 普通貳圓 小包送費拾貳錢
痔疾 請合藥（壹週間分） 內外併用壹圓四十錢 小包送費拾貳錢
ばい毒 請合藥（壹週間分） 特製貳圓 普通壹圓廿錢 小包送費拾貳錢
婦人病 請合藥（壹週間分） 內用壹圓 外用六拾錢 小包送費拾貳錢

代金引換小包は送費一錢廿郵便切手にて前納を乞ふ

右新劑は各其病狀に對して方今世界の醫學藥上第一有効と確認せられ東京、京都、九州帝國醫科大學病院等に於て卓絕せる効力有りと賞揚せられ配劑せられつゝありて衛生試驗所が檢查封緘せる正確なる高貴藥を主藥として製劑しある事を保證す、這は素人騙しの出鱈目に非ずして斯界の學士や博士の前に斷言するを憚らず、何人にても分拆の結果前述の證言に違あるを發見せらる、時は分拆料として金百圓を進呈す

●あらゆる治療法を講じて尙効無き患者諸君よ、兎に角最後の手段として一度當商會へ來れ根治法を懇篤教示す無効の時は藥價必返金

●本劑は他店に無し直接申込みあれ照會は返信券添付の事

右廣告記事に大阪區裁判所檢事局に於て縷々質問せられ一々詳細に明答し關し前にも事實と寸毫の相違無き事を立證せり、吾がドラッグ商會の廣告には一言半句と雖も嘘なし偽なし、彼の幾多無稽の妄說を掲げて得々たる山師的詐欺廣告の類に非らず賢明なる讀者諸君請ふ玉石混淆する勿れ